

# 台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2018年7月2日号 東京発行 NO.255

発行元：株式会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 TEL：03-5917-0045 FAX：03-5917-0047 http://www.taiwannews.jp E-mail:info@taiwannews.jp  
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350円(税込) 定期購読 12回：3,500円(税込) / 24回：7,000円(税込) ●郵便振替：00140-4-594168おかげさまで、  
臺灣新聞社は2017年10月で  
創立20周年を迎えました。

## マンダリン航空、台中—成田間 唯一の直行便が初就航



左から林佳龍市長、チャイナエアライングループの何煥軒董事長、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表

台湾の航空会社・チャイナエアライン(CI)の小会社であるマンダリン航空(AE)はこのほど、台中—成田線の区間を初就航させた。これは台中と成田を結ぶ唯一の定期直行便となる。台中市から日本への直行便となるこのアクセスにより、さらなる利便性向上にもつながり、相互往来する観光客数の格段の増加が見込まれる。就航は6月14日からスタートしている。

就航初日に第2旅客ターミナル3階のスカ



イリウムで就航式が行われ、同路線台中発の第一便に搭乗したチャイナエアライングループの何煥軒董事長、マンダリン航空の曹志芬取締役、同市の林佳龍市長ら台湾訪問団約20人が同ターミナルに到着し、その足で同式に出席した。

何董事長は挨拶で、台湾中部の観光促進に期待を示したほか、近いうちに同グループの新しい航空機の購入を示唆。将来はマンダリン航空にも大きい機体を提供していきたい

との旨を伝えた。また、林市長は「今まで来日する際は、朝7時の台北発だったため夜中3時には起きなければなかった。でも、今日の朝はゆっくり過ごせた」と、今回の就航により往復6時間で台中市と日本を往復できる利便性をアピール。さらに、利便性のみならず、台中市と日本の相互交流が活発になるよう期待した。

一方、マンダリン航空の曹取締役は本紙の取材に対し、同路線の予約済乗客のほとん

どが台湾人である事に言及。今後は日本での同路線PRに加え、日本旅行業者と協力し、先ずは業者と同路線を利用して台中市に来てもらい、観光プロモーションを行うなどの具体案を示していた。

なお、同式には、国土交通省東京航空局成田空港事務所の石井靖男成田国際空港長、成田市の小泉一成市長、成田国際空港の長田大代表取締役副社長、日本航空成田空港支店の中野直人支店長ら多数の来賓が

TOPIC	
日本語版	
●三味線の音色で演じる見劇「織襦夢」	3面
●今年の目玉は原住民グルメ!台湾フェスティバル開催	6面
中国語版	
●留日台湾同郷會東京事務總會回台参訪 羅陳建仁副總統接見	1面
●台北扶輪交流情誼長久-日本米澤扶輪社台湾訪問台東東區扶輪社	4面
●日本台湾祭在台首演轟動 加深雙方民眾交流	8面

WEBでもニュース記事が読めます  
http://blog.taiwannews.jp/

予約電話: (03)5215-2537

Taiwan THE HEART OF ASIA  
イメージキャラクター  
長澤まさみ

## 長澤まさみがCMイメージキャラクター続投!二年目に

台湾観光局の新CM「Meet Colors! Taiwan」制作発表会が6月7日に都内で行われ、イメージキャラクターを務めた女優の長澤まさみが登壇した。長澤の台湾観光局のCMイメージキャラクター起用は2年目。長澤は「過去に2年連続で起用された人はいないので、とても光栄に思います。台湾

には深い縁があるのかな」と胸中を語った。長澤は仕事やプライベートで何回も台湾を訪れているという。発表会では、そんな台湾通の長澤に台湾に関する3問のクイズが出題され、長澤は見事3問正解。台湾観光局より寿桃と玄武岩ハンコがプレゼントされた。なお、長澤は「私が見た台湾の良さを日本の皆さんに伝えたい。張り切ってイメージキャラクターを務めたいと思います」と起用された事に対して意気込みを話したほか、「ノスタルジックなイメージで、映画のワンシーンみたいな見応えのあるCMに仕上がりました」と新CMをアピールした。

一方、同発表会には台湾観光局の周永暉局長も出席。「美しい長澤さんが、美しい台湾を紹介してくれて嬉しい。安心安全な台湾を心で感じてほしい」と述べ、台湾をアピール。さらに、おすすめ台湾観光地などの質問を

WEBサイトにて公開されている。長澤に投げかけるなど長澤とトークセッションを行った。なお、「おすすめのお土産は?」との周局長の質問に長澤は「毎回必ず買って帰るものがある」と話し、干し梅を贈ってコーティングしたお菓子や烏龍ミルクティーの粉末を挙げ、来場した記者らに紹介していた。同CMでは、長澤が「高美湿地」や「彩虹眷村」などを訪れ、まだ知られてない台湾の色彩豊かなスポットを紹介。視聴者に各地の魅力伝える。なお、同CMは、今年4月よりすでに台湾観光局の



台湾観光局の周永暉局長(左)も出席し、長澤まさみと対談

## 台湾外交部、台湾を中国表記した JALとANAに抗議



表記変更したJALとANAの飛行機

日本航空(JAL/JL)と全日本空輸(ANA/NH)がホームページ上「台湾」の表記を一部で「中国台湾」に変更したとして、台湾外交部は6月18日、台北駐日経済文化代表処を通じてこの2社に対し厳重に抗議するとともに、表記を元に戻すよう求めると発表した。

JALとANAによると同12日から、中国大陸向けの中国語の簡体字サイトと香港向けの繁体字サイトで、目的地を検索する画面などで「中国台湾」という表記を導入した。2社は各報道機関の取材に対し、変更した理由について「サイトを利用するすべてのユーザーにとって、わかりやすく、受け入れられる表

記にした」と述べた。さらに、JALの広報担当は「今後の状況次第で、さらなる変更も検討しう」と答えた。なお、台湾人向けの繁体字ページや日本語のページ、英語のページなどは従来通り「台湾」とされている。台湾現地メディアによると、同19日午前に行われた同部定例記者会見で台湾外交部の李憲章報道官は、日本の航空会社2社の対応について「非常に不満だ」と表明。言語や地域によって異なる表記をとった善意には感謝するとしながらも、抗議を続けていく方針を示している。

一方、日本の官報局長は同19日午前の記者会見で、今回の一連の騒動について言及。「政府が民間企業に強制力をもって特定の政治的立場に基づいた措置を取るよう要求する事は好ましくない」と述べ、中国大陸の対応に懸念を示したほか、日本政府として外交ルートを通じ、中国大陸政府に

懸念を伝えた事も明らかにした。さらに、「台湾をめぐる問題については、当事者間で直接対話により、平和的に解決する事を期待している」と述べた。

台湾表記をめぐるのは、中国民用航空局が海外の航空会社44社に対し、同国政府が主張する「一つの中国」原則に基づき、台湾を中国大陸の一部としてホームページなどに表記するよう要求。従わない場合は中国の法律違反として処分する構えを見せていた。5月下旬までに、エア・カナダなど18社がホームページを修正し、JALやANAも対応を迫られていた。

一方、米国の大手航空会社・アメリカン航空、ユナイテッド航空、デルタ航空は、中国民用航空局が要請している「中国台湾」表記への変更は現時点で応じていない。3社は現地メディアに対し、「米国政府が解決しなければならぬ外交問題だ。この問題について米国政府が対応する事案だ」としている。

## 台湾新聞 『暑中お見舞い名刺広告』 ご出稿のお願い

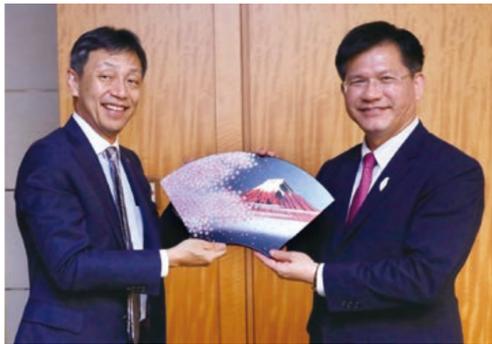
台湾新聞では、8月6日発行の256号にて「暑中お見舞い名刺広告」を掲載致します。是非この機会に時候のご挨拶とともに、各団体・企業のイメージアップ・PR効果としても、ご利用お役立てください。ご出稿を心よりお願い申し上げます。

- 1枚(縦79mm×横58mm)2万円(税込)※デザイン固定
  - 2枚(縦79mm×横118.25mm)3万円(税込)
- 2枚の場合は完全データでの入稿でお願い致します。(オリジナルデザインで作成ご希望の場合、別途1万円頂きます)

お申込み締切日:2018年7月12日(木)

申込先:株式会社 台湾新聞社  
TEL:03-5917-0045 FAX:03-5917-0047

# 林市長、記者会見で花博をPR! 日本との交流深める



住友商事を訪問、林市長(右)・山笠英樹常務執行役員  
このほど就航したマンダリン航空の「台中—成田路線」就航式典のため来日していた台中市の林佳龍市長は来日中、台中市で開催する台中フローラ世界博覧会(以下:花博)のPR活動や日本の大手総合商社・住友商事を訪問するなど、台中市と日本の交流を深めた。

林市長は6月14日、成田空港内で今年の11月に台中市で開催する花博の記者会見を開いた。日本での記者会見は、昨年3月に続いて2回目。林市長は、「花博を通じて自然の花の美しさを世界の人々に伝えたい」とし、多くの日本人が花博に来場するよう誘致した。また、花博のFacebookページにおいて3スタイルの花博のポストカードの案から、どのスタイルが一番良いかをコメントをすると抽選で台中—東京、台中—ソウルの往復チケットや花博の入場チケットが当たるキャンペーンの開始も発表し、参加を呼びかけた。

一方、同記者会見には、花博のマスコットキャラクターの「樂虎」

と「來虎」も台中市から駆け付け、場を盛り上げたほか、日本でリン君という愛称で親しまれている台湾出身の歌手・林育羣(リン・ユウチン)も登場し、ハナミズキなど2曲を熱唱した。リン君は、「花博という事で、花と関連する曲を歌いたかった」とハナミズキを選曲した理由について話し、「台中は美味しい食べ物がたくさんあるので、是非遊びに来て下さい」と花博をPRした。

## 住友商事訪問 台中市との経済協力関係を求める

一方、林市長は同15日、住友商事を訪

問し、同社の山笠英樹常務執行役員と面会した。林市長は会談で台中市への投資を促し、日台双方の風力発電産業、土地開発、スマートシティの発展について意見交換するなど、交流を図った。

林市長によると、台中市は現在「雙港發展計畫(台中港と台中空港を發展させる計画)」を実施している。同計画は、これまで荒涼地帯だった港一帯を發展させ、将来は重工業を担う役割にさせる事を目的としている。その一部で、離岸で風力発電等のクリーンエネルギーの使用を計画しており、「同社に是非協力(投資)して頂きたい」と強調した。また、将来は同社と相互の窓口を設立し、台中市政府も同社が台中市で安心して投資できるよう全面的にバックアップする旨を示した。

一方、山笠常務執行役員は、住友商事が1919年の創業から来年100周年を迎える節目であるとし、「今後も各業務を安定させ、会社を成長させたい」と話した。また、現在、国内に22ヶ所、海外には107ヶ所に拠点があり、



花博記者会見、リン君(左3)も駆け付けPR



林市長(左)・ピコ太郎(提供:台中市政府新聞局)  
東京都内で行われた花博PRイベントには花博の宣伝大使となった日本の歌手・ピコ太郎さんが登場。花博をPRする特別版「ペンパインッポーアッポーベン」(PPAP)を披露した。

# 「台湾MICE産業説明会及び交流会」を福岡で開催



台湾 MICE 産業説明会及び交流会が開催  
台湾經濟部国際貿易局及び台湾貿易センター(TAITRA)福岡事務所は6月6日、グランドハイアット福岡で「台湾MICE産業説明会及び交流会」を開催。旅行業界、一般企業、メディアなど約80人が参加した。MICEは、企業や組織の会議(Meeting)、報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベ



社員旅行で感じた台湾の魅力を紹介する佐藤部長

ント(Exhibition/Event)の頭文字をとったもので、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。  
日台両国の緊密な関係を背景に現在、日本から台湾を訪問する人数はここ数年増加の一途をたどり、2017年には190万人に達した。加えて、日本の企業や団体の台湾MICEに対する関心と期待も高まっている。  
台湾貿易センター本部代表MEETTAWAN運営副責任者の林淑惠氏は同会の目

的として、「展示会、国際会議、インセンティブツアーの場所として台湾が持つ魅力を日本のMICE関連業者や、台湾での社員旅行・インセンティブツアー実施を検討中の企業に知ってもらうとともに、MICE産業に関する日台交流をより深くするためのものである」と挨拶し、福岡観光コンベンションビューロー(FCVB)と結んだMOU(覚書)に書かれた業務の一層の發展を祈念した。  
また説明・交流会では、MEETTAWANプロジェクトマネージャーより台湾MICE産業の紹介があり、台北市政府からは台北MICE環境の説明があった。このほか雙向明思力公関公司より、TAITRAが運営する国際ビジネスコンテスト「AsiaSuperTeam」の説明と、昨年同コンテストに優勝して台湾へ社員旅行を実施した株式会社ぶんコーポレーションの体験談が佐藤昭部長よりスライドを用いて報告されるなど、台湾MICEの魅力が伝えられた。

# 横濱・陳処長、台湾の国際組織参加の重要性を強調

日台経済文化交流協会(上村直子会長)は6月12日、ホテルモントレ横濱で第7回総会及び懇親会を開催した。また講演会も開かれ、台北駐日経済文化代表処横濱分処の陳愷宏処長が行った。

陳処長は講演会で参加者に対し、台湾の基本情報や日本と台湾における関係性、台湾の政治や経済の状況・課題について説明したほか、台湾における国際組織参加の重要性について言及。WHO(世界保健機関)及びWHA(年次総会)に今年も台湾が参加できなかった事については、「参加は叶わなかったが、各国の代表らが台湾参加への支持を発言してくれた」とし、今後も台湾はWHO及びWHAの参加に向けて総力をあげていく構えである事を伝えた。

また、台湾と諸国との国交関係については、先月に西アフリカのブルキナファソとカリブ海のドミニカ共和国から外交関係の断絶を通告され、台湾と外

交関係を有する国は、過去最少を更新し18カ国となった事に触れ、「国交は少なくなったが、台湾人がノービザで入国できる国は167カ国もある。これは各国との間に信頼がなければ実現していない事だ」と述べ、各国との絆を強調した。

なお、総会及び懇親会には台湾貿易センター東京事務所の呉俊澤所長、静岡日台友好協会の長谷川博司会長ら各界代表のほか台湾人留学生らも参加し、交流を深めた。

同協会は日台両国の相互理解を深

め、文化・経済・人事等の民間交流を通じて両民族の親善関係を増進し、国民運動を展開して、アジアの恒久的融和に貢献する事を目的とし2010年に設立。主に横浜地区での日台交流のために総会や経済講演会などの開催のほか、積極的に台湾訪問を行っている。



約50人の関係者らが参加した

台北駐日経済文化代表処横濱分処の陳愷宏処長

ほやし まさゆき  
監督/林 雅行  
2007 台湾・九份 「風を聴く〜台湾・九份物語〜」  
2009 台湾・金瓜石 「雨が舞う〜金瓜石残照〜」  
2013 台湾・金門島 「呉さんの包丁〜戦場からの贈り物〜」  
2016 台湾・采民の家 「老兵挽歌」

文部科学省  
選定作品

心の故郷  
〜ある湾生の歩んできた道〜

心的故郷 ~湾生の山與海の記憶~

製作/クリエイティブ21  
語り/川平朝清  
台中生まれ・元琉球放送アナウンサー  
イラスト/森田拳次  
漫画家・中国からの引揚者  
テーマ曲 作曲・演奏/彩愛玲  
ハーピスト

後援:台北駐日経済文化代表處/台湾駐日経済文化代表處 台湾文化センター/台湾観光局・台湾観光協会/一般財団法人 台湾協会/関東地区基隆会  
蘇澳会/沖縄県台湾会/CHINA AIRLINES/STAR AIRLINE/蘇澳鎮/新北市/基隆市/東京台湾の会/株式会社台湾新聞社 特別後援:日本漫画家協会

台湾で生まれる  
台湾で生きる  
台湾を想いながら  
今も生きる

「湾生」とは  
戦前の日本統治下の台湾で  
生まれ育った日本人。  
終戦時には、約20万人。

台湾東部にある町、蘇澳。1人の日本人の手によって冷泉が発見された。この炭酸を原料にラムネが作られた。この日本人に孫が生まれた。その1人が信子さんだ。  
また、この町には昔からの漁港があった。1人の日本人官吏が漁港や魚市場を整備した。この日本人に子どもが生まれた。その1人は道男くん。信子さんの1つ下だ。この町には壺の舞う小さな川があった。この川をはさんで小さな橋があり、そのほとりに信子さんと道男くんの家があった。道男くんはラムネが楽しかった。信子さんと道男くんの家が橋をはさんでわずか10mという近い距離にあったのを知るのは70年後のこと。それまでの2人の奇数な人生とは、ラムネを飲むと台湾時代がよみがえる。

日本統治時代に台湾で生まれた  
日清戦争によって台湾は日本の統治下に入った。日本の官吏、企業の社員、商人、農民などが台湾に渡った。そして台湾で生まれた子どもたち。彼らは幼少年期、学齢期を台湾で過ごし学んだ。台湾人の友だちもできた。戦争の足音と共に、軍事体制の下に、勤労動員にかりだされ、少年兵になった人も。(1895年から1945年の50年間)。日本の敗戦により、強制送還される。台湾からの日本人への引揚げは、48万人を数えた。

現在の蘇澳港(南方澳)

戦後復興を担う  
日本は戦災で焦土と化していた。引揚者たちは生きていくために必死に働いた。子どもたちは日本の学校に転校、やがて日本は高度成長をむかえ、成長した子どもたちは就職し、結婚した。子どもも生まれた。日本での生活も20年、30年...そして70年。それぞれ80歳を越えた。

懐古  
台湾で生まれ、家族と共に日本に引揚げた湾生たちは、いま幼少期、学齢期を懐かしむ。「いま何をしている?」「元気か?」「僕の学んだ学校は?」「私の遊んだ公園は?」「産まれた川は?」 こうした湾生たちのものがたり...

続編「湾生いきものがたり」 台湾各地で生まれた湾生たちが語るそれぞれの幼少期・青年期の人生。2018年夏完成!

2018年  
7月21日(土)~27日(金) 11:15~  
7月28日(土)~8月3日(金) 16:30~

料金:一般1800円/大車1500円/シニア1100円/高校以下・障がい者1000円

映画のお問い合わせ 株式会社 クリエイティブ21 新宿区三栄町16 TEL:03-3226-5290/FAX:03-3226-5292 creative21@joy.ocn.ne.jp

# 三味線の音色で演じる昆劇「繡襦夢」 奇跡の融合が現実

日台の伝統芸能を融合させた公演「花開く伝統一日台の名作と新作」が6月17日、横浜能楽堂で千秋楽を迎えた。同公演は、日本の横浜能楽堂と台湾の伝統芸能劇団・国光劇団が共同制作に挑んだ新作劇「繡襦夢」の初披露をメインに、台湾の崑劇と日本舞踊の一部を上演するという贅沢な舞台となっただけに、同日も大勢の観客が来場し成功裏に日本公演の幕を閉じた。同公演は同9日と同17日に横浜能楽堂で、同10日に新潟県新潟市内、同16日に愛知県豊田市で上演された。今後は9月8、9日に台中国家歌劇院中劇場(台中市)、同14～16日に台湾戯曲センター大ホール(台北市)で上演される。



主演の温宇航(左)と相手役の劉翊后代表処台湾文化センターの朱文清センター長の働き掛けで始動し、3年前に横浜能楽堂の中村館長が台湾を訪れた際に、国光劇団とのコラボレーションが決定。日台の各分野を代表する芸術家が、日本と台湾を行き来し、相互理解を深め作り上げた。物語は崑劇の古典作品「繡襦記」を下地に、夢幻能の形式を取り入れ、日本の三味線音楽を融合させている。主演は、国光劇団に所属しながら国際的に活躍する崑劇のトップスター・温宇航。相手は、注目の若手スター・劉翊后。音楽は、常磐津の三味線奏者・常磐津文字兵衛が音楽監督・作曲・演奏を務めたのに加え、長唄の今藤美治郎・杵屋秀子・今藤政貴らが日本から参加し、国光劇団の演奏家と共演した。演出は、台湾のコンテンポラリーシーンを牽引する王嘉明が務めるなど、まさに日台伝統融合の傑作となった。

## 作品を通じた日台の 伝統芸能重鎮らの交流

「繡襦夢」の製作は、台北駐日経済文化

千秋楽に合わせて来日した国光劇団を運営する台湾・国立伝統芸術センターの呉榮順主任は、「能楽というのは日本を代表する伝統芸能だ。今回、コラボレーションの相手として選んで頂いた事はとても光栄だと思っている」としたほか、「同公演は、日本と台湾でお互いに公演を行なう事に意味がある。コラボレーションというのは、お互いに助け合う事で初めて成功となる。台湾での公演にも期待したい」と想いを述べた。



台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表(右3)も同公演を鑑賞した



台湾・国立伝統芸術センターの呉榮順主任

# 九州台湾商工会が萩市へ親睦旅行



九州台湾商工会(頼玉汝会長)一行は6月3日、山口県萩市へ日帰り旅行を楽しんだ。参加したのは福岡市からの会員43人と萩市内に住む大倉睦子氏(山口県華僑総会会長)、大倉伸洋氏(九州台湾商工会副会長)の総数45人だった。

今年も明治維新後150年という事もあり、例年実施している親睦旅行先に吉田松陰、高杉晋作、木戸孝允など、明治時代の英傑を生んだ萩市を選んだ。

メインイベントの「歴史散策」では、明治維新の原動力となった松下村塾跡とその中心人物である吉田松陰を祀った松陰神社を訪れた。松陰と弟子たちの勉強心と明治を作った偉業を説明するボランティアガイドさんの声に耳を傾けながら、「もう少し若いときにここにきていれば、自分の人生も変わったかも知れない」と話す人もいた。さらに「萩城・城下町」の円政寺では、同寺の周囲1キロメートルという狭い範囲から高杉晋作、木戸孝允という2人の元勳と伊藤博文、田中義一の2人の総理大臣を輩出した事聞かされ、会員らは熱いエネルギーが渦巻いた時代と人の縁、土地の力に感心していた。

なお、移動中のバスの車内で会員らの親睦も深められた。福岡出発後のバスの車内では自己紹介も行われ、さらに街の合唱団を指導している萬逸真さんが指揮を取り、「雨夜花」と「夜来香」を全員で熱唱するなど有意義な交流会だった。



新鮮な海の幸で昼食交流

# 台湾18大学が学生誘致に向けてPR

台湾の18大学はこのほど日本台湾教育センターが主催する「留学フェア」に出展のため来日し、6月20日より各所で日本人留学生誘致に向けたPR活動を行った。

今年も長榮大学、建國科技大学、国立高雄大学、清華大学の4大学が初出展した。国立高雄大学は、創立18年と年数が浅いため認知度がまだ低く「まずは当校の存在を知ってもらいたい」との理由から出展。担当者によると、現在在学中の日本人交換留学生は約20人、4年制の正規留学生は1人と他大学と比較すると圧倒的に少ないという。「今回の出展で、日本人学生の市場調査を行っていく」と意気込みを見せていた。



初出展した国立高雄大学もPR

一方、7回目を迎えた今年と同フェアでは、新たな試みも見られた。昨年までは台湾留学を考えている高校生を対象に同フェアが行われていたが、今年は、大学や高校の担当者、留学エージェントらを招待し、各台湾の大学とゆとり商談ができるプログラムが取り入れられた。日本台湾教育センター郭麗娜主任は「姉妹校提携などのきっかけになれば」と新たに取入れた目的を話したほか、今後は高校生留学に

対して「思い入れの作品」と強調した。なお、イベントの途中には、温さんが執筆した台湾アイデンティティに関する著書「台湾生まれ日本語育ち」が2015年に出版された事にも触れ、野嶋氏は「今だから言えるけど、あの本が出版された時は、『ちくしょー』って思った」と話すなど、会場が笑いの渦に包まれる場面も多く、心温まるトークイベントだった。



横浜中華学院で行われたフェアの様子

グラムは同22日、学習院大学内で行われた。

## 横浜中華学院で学生らにPR

同21日には、例年通り横浜中華学院でも同フェアが開催された。一般公開もしていたが、参加者は同学院の生徒が大部分を占めていた。参加した高校二年生の日本と台湾ハーフの男子学生は「一気に大学の説明を聞く事ができて嬉しい。参加した事で、台湾に行きたい気持ちが強まりました」と話した。

なお、同会場では、同学院の中学生の参加も目立った。同学院の担当教師によると、大学進学のための資格や知識など、中学生の時に知っておくべきである」と話している。

プラスの力になる  
**年間定期購読**  
毎月第1月曜発行  
台湾新聞 続けて読むから「台湾」が解る台湾のとれたて情報を毎月お届け。

お得01 **送料無料でお届け!**

お得02 **1年契約で700円お得!**  
※12回発行で購読料3,500円(1部350円×12=4,200円)

～お申込みはかんたんです(住所・電話番号・お名前・契約月)～  
お申込み窓口(TEL03-5917-0045 FAX03-5917-0047)まで  
メールでも受付中!(info@taiwannews.jp)

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

**嘉南旅行社**

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊  
●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

※銀行匯款口座  
精通國、臺、日語服務親切 三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店(普)3678888(名義)嘉南観光(株)

營業時間:週一～五 9:30～18:00・週六～日・假日 休息  
TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989  
地址: 〒169-0073新宿区百人町2-20-1第二岡田屋ビル401

**大鑫産業株式会社**

広めよう未来につながる  
リサイクル社会

大鑫産業株式会社は、不用品や廃棄物のリサイクルを専門とする会社です。

非鉄スクラップ	自動車部品	OA機器	基板	CPU貴金属
---------	-------	------	----	--------

◎電子部品、パソコン関係などの在庫処分にお困りの方は、DAIKINにご相談ください。  
◎生基板、トナーカートリッジを買取、リサイクルいたします。

DAIKIN  
TEL.0297-30-3308(代表) FAX.0297-30-3309  
本社:〒306-0515茨城県坂東市沓掛6464 http://daikin34.com/index.html

Information エンタメ/イベント/日台交流

台湾演劇公演「同棲時間～The Brotherhood～」～台湾のLGBTカルチャーの発信、リアルな台湾演劇を東京で上演～

亜細亜の骨(東京)×亜戯亜(台湾)の共同企画による演劇「同棲時間～Brotherhood～」(作:林孟寰/ドラマツルク:E-RUN/演出:黄郁晴)が8月2日～8月5日まで東京・新宿シアターモリエールで上演される。

なお、同作は、同性愛者である台湾新鋭劇作家・林孟寰(リン・モンホワン)によって書き下ろされた。台湾と日本を舞台にしたセクシャルマイノリティの人々のドラマであると同時に、現在の台湾という国の課題にも鋭く繊細に迫る。

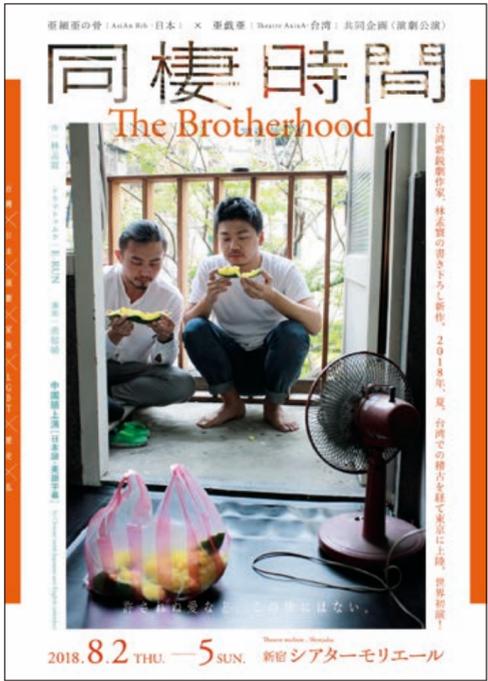
グルメや観光では見えない台湾の空気や景色、人間ドラマを感じてもらえるよう、台湾・日本の両プロジェクトチームが一丸となって取り組んできた作品だ。全席自由席。チケットはカンフェティチケットセンターにて受付。

- 早割<6月1日(金)10:00～> 各回数限定・予定枚数終了まで> (一般)¥3,800 (U25)¥2,800
■前売<6月1日(日)10:00～> (一般)¥4,500 (U25)¥3,500
■当日券<開演60分前より劇場にて> (一般)¥4,800 (U25)¥3,500

お問い合わせ↓ E-mail: asianrib2018@gmail.com URL: https://2018asianrib.stage.corich.jp/ (亜細亜の骨)

～STORY～

台湾のボロアパートの一室。ランニング姿でJポップを口ずさみながら、父の遺品を片付ける弟。スーツ姿の兄が、ブリーフケースとレジ袋を持って現れる。そこにスイカを担いで出現する珍客サルサ。日本語と中国語の入り混じる小さな部屋の中で、三人三様の生き方が交錯する。



2018.8.2 THU. — 5 SUN. 新宿シアターモリエール

亜細亜の骨×亜戯亜世界初演!

せたがやジュニアオーケストラ×高雄市青少年交響楽団が交流コンサート

せたがやジュニアオーケストラは同世代のオーケストラ「高雄市青少年交響楽団」を招き7月31日、世田谷区民会館で交流コンサートを行う。せたがやジュニアオーケストラは初の海外ジュニアオーケストラとの共演となる。



交流コンサートのチラシ

同交流会の主催は世田谷区。同区の文化担当者が高雄市を表敬訪問した際に、相互に文化交流を進める事で意気投合した事が始まりだった。訪問のなかで、双方にジュニアオーケストラがある事がわかり、演奏旅行先の検討をしていた高雄市のジュニアオーケストラは旅行先を世田谷区に決め、今回交流コンサートを行う運びとなった。

高雄市青少年交響楽団は2004年6月に創設。毎年2回の定期演奏会のほか、様々な活動を行っている。冬季・夏季休暇の年2回の選考によって集められたメンバーは、日々練習に励み、着実な成長と進化を遂げ、現在では台湾の青少年交響楽団として最大規模となった。

お問い合わせ→ TEL: 03-5432-1515 (世田谷パブリックシアターチケットセンター)

台湾人写真家11人の展示会開催

現代台湾を代表する写真家11人の作品を日本初公開する写真展「島の記憶-1970-90年代の台湾写真」が7月7日より12月2日まで、山梨県の清里フォトミュージアムで開催される(時間:10:00～18:00、入館は17:30まで、12月は10:00～17:00、入館は16:30まで)。



島の記憶-1970-90年代の台湾写真

企画は国立台湾美術館・清里フォトミュージアムで、展示点数は152点を予定。観覧には入館料が必要(一般・800円、学生・600円、中学生・400円)。

同展は台湾における1970-90年代のフォトアートの発展に焦点をあてており、移り行く景色や人物の容貌を交互にあぶり出し、過去から現在までの変遷を見つめ直す。

また、会期中には、イベント&ワークショップ本展キュレーターの張照堂氏・沈昭良氏ほかによるアーティスト・トークが7月7日(14:00～15:00)に展示室で行われる。詳細はこちら→ HP: http://www.kmopa.com/?p=6384。

お問い合わせ↓ 清里フォトアートミュージアム Tel. 0551-48-5599

台湾留学生経験者らによる成果発表会が開催



参加者ら記念撮影 教育部の林世英部長は前列左から4番目

台湾留学経験者及び中国語を学習している日本人学生による中国語の成果発表会が6月15日、台湾文化センターで行われた。今年13人の学生が集まり、それぞれが自身の留学経験や中国語の学習を始めたきっかけなどを中国語で発表した。

参加した女子大学生は、「とても緊張しました。文章を書くのと発表で話すのでは全然違い、普段から中国語で会話をする事がいかに大事なのか気づけました」と、同発表会の参加が自身の経験に繋がったとしたほか、「機会があったらまた台湾に留学したい」と話した。

なお、同発表会は台北駐日経済文化代表処の教育部によって企画された。同部の林

世英部長によると、台湾留学経験者が日本に帰国後、その成果を発表する場やほかの学生との交流がない事から一昨年、同発表会の第一回を開催。その後、参加した学生や学校の先生から好評を得たため昨年は春と秋に2回開催したとの事。林部長は、今後も1年2回の開催をコンスタントに実施し、「参加学生を毎回20人以上を集めたい。この発表会をもっと盛り上げていきたい」と意気込むなど、同発表会に対する想いを語った。



発表会の様子

一方、同発表会には講評者として、拓殖大学の渡邊俊彦助教授、日本台湾教育センター郭艶娜主任、中華民国留日東京留日同学会の劉冠賢会長が出席した。

台湾文科省、淡江大学 共同企画

気軽に楽しく学べる中国語レッスン!

すぐ使えるらくらく実用的なフレーズ!

経験豊富な台湾出身のネイティブ教師による授業!

中国語速成会話講座 学員募集中



お問合せ 新富中国語教室(担当:陳) TEL:080-4109-5488 FAX:03-5836-6536 Eメール:shintomi.cl@gmail.com

主催:新富中国語教室 後援:日本千葉台湾商会

\*企業並び団体の要求に合わせて、オリジナルレッスンにアレンジすることも可能です。お気軽にお問い合わせください。

Table with 4 columns: 売マンション 江戸川橋, 売マンション 神楽坂, マンション 半蔵門, 売マンション 江戸川橋. Each column contains property details like price, location, and contact info.

# Digest News / Jun 2018

— 1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

## Jun.2 タイバル族の合唱団、ウィーンで最優秀賞

台湾原住民・タイバル族の小学生合唱団が、オーストリア・ウィーンで行われたシュベール国際合唱コンクールで最優秀賞及び大会特別賞を受賞した。コンクール当日、伝統衣装に身を包んだ子供たちは民謡など4曲を歌い上げた。コンクール出場者は新竹県尖石郷嘉興小学校義興分校の子供たち。全校児童はわずか21人だが、今年見事にウィーンのコンクールへの参加資格を勝ち取った。しかし、経済的な困難を抱える家庭の児童が多く、航空券や旅行用のスーツケースが買えないという申し出が相次いだ。教員らは子供たちの願いを叶えようと奔走。事情を知った企業や一般市民から支援を

受けられる事になり、エバー航空からは復讐航空券が提供され、コンクール出場が叶った。タイバル族の合唱団(提供:自由時報社)なお、同団の出場部門には、ロシアやベトナムなど計5つの団体が参加。最優秀賞は同団とロシアの団体に与えられ、大会特別賞は同団だけに授与された。



タイバル族の合唱団(提供:自由時報社)

## Jun.6 セブンイレブン運営企業がスポーツジム開設

台湾セブンイレブンを運営する統一超商は、地下鉄行天宮駅近くに「7-ELEVEN x BEING FIT」スポーツ複合店をオープンした。この施設は、同社を運営する統一グループ傘下のフィットネスジム「統一佳佳」とコラボしたもの。1階はコンビニエンスストア、2階は広さ55坪のフィットネスジムで、運動器具40種類、シャワー室を備える。統一佳

佳の陳麗蓉社長によると、米国やヨーロッパの運動人口は20%を超えたのに対し、台湾のフィットネスジムの浸透率は3%以下だという。陳社長は「休日に運動する以前の運動スタイルから、平日の空き時間を使って運動するスタイルに変化している事から、フィットネスとの融合施設を考案した」と話した。

## Jun.6 海洋大学と台湾日通が産学連携締結

台湾海洋大学は、日本通運の台湾法人・台湾日通国際物流(以下:台湾日通)と人材育成などで産学連携を進める覚書をつなげた。締結後は、物流業界や職業をテーマにした講座を共同で開くほか、台湾日通は同大学に対し、人材育成のための奨学金の開設やインターンシップ、就業機会の提供を行うとしている。同大学内で開かれた調印式には同大学の張清風学長と台湾日通の梶

井雅章理事長が出席した。張学長は、同大学では大学教育と社会のギャップを埋めるため、産業界との連携強化や産業に関するカリキュラムの整備、インターンシップの推進に取り組んでいるとし、「台湾日通との連携によって産学の交流が深まる事に期待」と話した。なお、来月からは、同大学の学生3人が台湾日通で1年間のインターンシップの参加が決まっている。

## Jun.6 カバランメーカーがビール産業参入

台湾飲料メーカー・金車グループが、新ブランド「BUCKSKINビール」の販売を発表した。同社は缶コーヒーなどの飲料を主力製造しているが、2006年に初の台湾産ウイスキー「KAVALAN(カバラン)」の製造に成功。今回のビール産業への参入について、李添財董事長は「カラムを製造開始してより、おいしい酒を造るために邁進してきた。今後もその信念を守り続け、良いものだけを提供していきたい」とした。なお、ドイツのビールに関

する法律、ビール純粋令に従い、工場では「麦芽・ホップ・水・酵母」のみを原料として製造。今回発売した商品は、バナナと香辛料の香りが特徴のドイツ小麦ビール(Hefeweizen)と、麦芽の爽やかな風味が特徴の黄金ラガービール(Munich Helles)の2種類。一方、同ビールブランドの発表に合わせ、台北市信義区にビールと自社開発した特色料理を提供するレストラン「BUCKSKIN BEERHOUSE」もオープンした。

## Jun.6 グアテマラに無償資金10万米ドル提供

台湾外交部は、中米の国交樹立国であるグアテマラ共和国のフェゴ山噴火で多数の死傷者が出ている事を受け、10万米ドルの緊急無償資金協力を決定した。被災者支援に用いる。同外交部の李憲章報道官によると、今回の火山噴火はグアテマラにとって過去半世紀で最も深刻なものだという。死傷者はすでに数百人になっているほか、3200人余りが避難を余儀なくされている状況だとして

いる。台湾の蔡英文総統と同外交部の呉釗燮部長は直ちにツイッターなどのSNSを使い、同国に対してお見舞いのメッセージを発信。「人飢己飢、人溺己溺(人の苦しみをわが事とらえる)」という精神に基づき、緊急無償資金協力を10万米ドルを提供するとしている。また、同外交部は、今後の動向に注意し、グアテマラ共和国が必要とする支援を提供する旨も示している。

## Jun.7 詹選手、全仏ミックスダブルスで優勝

台湾の女子プロテニス選手詹詠然選手がテニスのグランドスラム(世界4大会)の1つである全仏オープンミックスダブルスの優勝した。詹選手が世界4大会のミックスダブルスで優勝するのは初。台湾の選手としても初めて。なお、詹選手とペアを組んだのは、クロアチアのイバン・ドディグ選手。ペアとして最初の大会でビッグタイトルの獲得となった。詹選手は試合後現地メディアに取材に対し、「私とドディグ選手は、それぞれが4

大会ミックスダブルスで準優勝を獲得したが、頂点ではなく、悔しさを味わった事がある。私たちは同じ経験を持つパートナー」とした上で「2人の目標は明確だった。だからこそ、決勝戦では最初から強気のプレーができた」と話した。なお、詹選手は昨年、スイスの名選手、マルチナ・ヒンギス選手(すでに引退)と組み、全米オープン女子ダブルスで優勝した。今回優勝した事で、4大会2度の制覇となった。

## Jun.8 ヒト型ロボット「ペッパー」が台鉄に登場

台湾鉄路管理局(以下:台鉄)は鉄道建設131周年を記念し、ソフトバンクグループのヒト型ロボット「ペッパー」4台を導入した。台北、台中、高雄、花蓮の主要4駅に配置され、ガイドサービスや商品情報などを提供する。また、中国語のほか、日本語や英語も対応するため、外国人観光客向けサービスとしての活用も見込まれる。なお、台北駅では同日、お披露目が行われ、駅員の帽子を被ったペッパーが登場した。同社は、かわいく元気いっぱいのペッパーとのやり取りを通じて利用者に新鮮さを感じてもらいた



台北駅に登場したペッパー(提供:自由時報社)

いと期待を示している。ペッパーのサービス時間は9時から6時まで。主に駅構内のインフォメーションセンター前や待合ロビー、改札口などに配置される。

## Jun.8 外交関係50年、スワジランド王国の歓迎式典開催

台湾の蔡英文総統は、台北市内で訪したアフリカ南部スワジランドの国王ムスワティ3世の歓迎式典を開いた。台湾とスワジランドは今年で外交関係を結んで50周年を迎えた。蔡英文総統は式典の挨拶で「50周年は我々の友好関係の一里塚だ。今後も双方の関係を強化したい」と述べたのに対し、王国も「先祖が打ち立てた強固な友好関係を子孫の世代まで続けた

い」と応じた。スワジランドは台湾にとってアフリカ大陸最後の外交関係国。蔡政権発足後、中国大陸は「一つの中国」を主張している事から、台湾と外交関係があった4カ国との断交に追い込み、そのうち2カ国がアフリカ大陸の国。台湾メディアによると、中国大陸は現在も台湾と断交するようスワジランドに要請している。

## Jun.12 3人の受託手荷物から2188グラムの金塊見つかる

桃園国際空港で、日本行きの飛行機に搭乗予定だった台湾国籍の女性3人の受託手荷物から、限度額を上回る約262万円(約970万円)相当の金塊2188グラムが見つかった。関務署台北関によると、保安検査中に3人の受託手荷物がX線検査機に反応。なかを調べると、紙に包んだ上、衣服のなかに入れていた複数の金塊が入っている

袋を発見した。法律上、2万米ドル(約221万円)相当を超える金を持ち出す際には、税関への申告が必要で、3人が無申告で持ち出せるのは計6万ドル(約664万円)相当までだった。全ての金塊は一時的に差し押さえられ、限度額超過分に相当する82万円(約304万円)が没収として料される。

## Jun.14 石油タンカー2隻が座礁、32人無事救助

高雄市の沿岸で外国籍の石油タンカー2隻が座礁した。熱帯低気圧の影響により高雄沖の海上が荒れ、碇が流されたとみられる。乗組員計32人は15日の朝までに全員が無事救助された。なお、座礁したのはパナマ籍の石油タンカー「SHINELUCK」とフィジー籍の石油タンカー「WINNER19」。海洋委員会海

巡警の発表によると、救助隊員はまず繩梯子を使い、WINNER19に乗船していた14人を救出。SHINELUCKについては岸から離れていたため、ヘリコプターでの救出を試みたものの、悪天候のため断念。その後大型クレーン車を使って全員の救出に成功した。

## Jun.14 国際アニメーション映画祭に台湾パピリオン登場

フランス・アヌシーで開催された「アヌシー国際アニメーション映画祭」に台湾パピリオンが出演した。台湾パピリオン出演は、海外市場の開拓を図る事を目的に、今年で4回目。今年の出演作品は、台湾社会の変遷を描いたサン・シンイン(宋欣穎)監督の「オンハピネスロード」(幸福路)のほか、ロボットアニメの「重甲機神」、

煮玉子のキャラクターを主人公にした「瀟沙沙小鎮」など8本。このうち、「幸福路上」は、同映画祭のアウト・オブ・コンペティション部門(賞の対象外)で上映された。今年はアメリカ、イギリス、フランスなど93ヶ国・地域の作品が参加したほか、5日間で11万人が来場し、約500本の動画作品が放映された。

## Jun.18 台湾トップが大坂北部地震にお見舞いメッセージ

大阪府北部で18日に発生した震度6弱の地震で、台湾の蔡英文総統は同日、自身のツイッターで被災者へのお見舞いメッセージを日本語で発信した。蔡総統は「被害に遭われた方々の速やかな回復と被災地の早期復旧を心からお祈り申し上げます」とし、日本に必要な支援を提供する準備がある事を伝えた。一方、日本の安倍晋三首相は、蔡総統の投稿を引用

して中国語繁体字で感謝の言葉を寄せた。安倍首相は、台湾について「まさかの時の友は真の友」とつづり、今後も友好関係を維持していく考えを示した。なお、頼清徳行政院長も自身のフェイスブック上で、「台湾は心遣いを示すだけでなく、喜んで心を尽くします」と大阪にエールを送っている。

## Jun.19 関ジャニ∞、台北開催のコンサートをPR

日本アイドルグループ・関ジャニ∞が9月に台北市の台北アリーナでコンサートを開催するに先立ち、メンバーの錦戸亮、横山裕、大倉忠義の3人はこのほどPRのため訪台し、報道陣の取材に応じた。錦戸は、台湾の蔡英文総統が先日、ツイッターで大坂北部地震にお見舞いの

言葉を送った事に触れ、中国語で感謝を伝えたほか、初めて台湾を訪問した横山と大倉も台湾語でのあいさつを披露した。なお、関ジャニ∞は冠番組「関ジャニの仕分け∞」の縁で、台湾出身の歌手・林育羣(リン君)と交流があり、会場ではリン君からの祝福メッセージ映像も流れた。

## Jun.22 野球台湾代表、日本の巨人3軍と対戦

野球の台湾代表は台北市の天母球場で日本プロ野球・巨人の3軍と交流戦を行った。試合は4対4の引き分けに終わったものの、台湾代表の許順益監督は、「刺激を受け、色々学ばせてもらった」と強度の高い試合ができた事を喜んだ。なお、

巨人3軍の台湾遠征は3年連続。今年は19日に現地入りし、20~22日の3日間、台湾プロ野球・ラミゴの2軍、中国文化大学の野球チームと対戦したほか、台湾在住の日本人少年を対象とした野球教室も開いた。

## Jun.23 金曲獎、徐佳瑩が最優秀中国語女性歌手賞

台湾の音楽の祭典「ゴールデン・メロディー・アワード」(金曲獎)の第29回授賞式が台北市の台北アリーナで開かれ、最優秀中国語女性歌手賞をシンガーソングライターの徐佳瑩(ララ・スー)が初受賞した。徐佳瑩は、「この賞はわたしにとって本当にとても大きな励みになりました」と喜びを表現した。一方、最優秀中国語男性歌手賞を制したのは、香港出身の陳奕迅(イワン・チャン)。2015年以来3年ぶり、3度目の受賞となった。陳奕迅は「C'mon In~」で、言語別(中国語、台湾語、客家語、先住民語)の各アルバム賞にノミネートされた全作品の中から選ばれる「年間アルバム賞」も手にした。今年の金曲獎



徐佳瑩(提供:自由時報社)は計27の賞に対してアルバム884枚、計1万9539作品の応募があった。

(元=ニュー台湾ドル)

## 1年間の台湾インターンシップ生受入企業募集

### グローバル化に対応した台湾人の人材を活用しませんか?

近年日本ではインバウンド事業が盛んとなり、グローバル化により外国人人材の需要が求められています。台湾には、将来性ある優秀な台湾学生が多く、その人材を活用する事で、グローバル化する日本社会に対応する事ができます。

臺灣新聞社では、台湾のインターンシップ生を必要とする企業様を募集し、グローバル人材の活用をサポートします。契約期限は1年間ですが、その後正社員雇用も可能です。詳細は下記までお問い合わせ下さい。

注意事項 | 社宅など不動産の協力が必要な場合、バックアップさせていただきます。

# 臺灣新聞

## 受入企業募集中

TAIWAN NEWS ◆ 東京発行

☎ 03-5917-0045    🏠 〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4  
☎ 03-5917-0047    ✉ info@taiwannews.jp

## 金箔お香

石川県を代表する「九谷焼」とのコラボレーションにより上品なお香が誕生しました。その名も「金箔お香」火を使わず安心して香りを楽しめます。お好みの容器にお好みの香りをセットして是非お楽しみ下さい。

### 九谷焼 陶箱8種(幅5.5cm×奥行5.5cm×高さ4.5cm)

01 石畳文	02 青手上城	03 藍に牡丹	04 宝尽くし	05 梅鶴文
06 小紋花鳥園	07 桜	08 小紋手	09 青海波千鳥	

【セット内容】九谷陶箱とお香のセットです  
・九谷陶箱は、全8種です。  
・香りは白檀、沈香、ローズ、グリーンティミントです。  
・香りと陶箱の組み合わせは自由にできます。

【内容物】九谷陶箱香組  
・九谷陶箱、共8種花色。  
・白檀、沈香、玫瑰、緑茶薄荷、共4種香気。  
・九谷陶箱及香気可以自由選擇搭配。

### 香りは4種類(お香単品売りも承ります)

A-1 沈香	A-2 ローズ(玫瑰)	A-3 白檀	A-4 別みゆ(沈香薄荷)
--------	-------------	--------	---------------

金箔お香単品    金箔お香セット

お問い合わせ

【日本JAPAN】株式会社 臺灣新聞社  
〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4  
E-Mail: info@taiwannews.jp  
TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0047  
Web: http://taiwannews.jp/

【台湾TAIWAN】台湾千冠有限公司  
25147 新北市淡水区中正東路一段3巷19号6楼  
E-MAIL: ckli@ckli.com.tw  
TEL: 02-2620-6806 FAX: 02-2620-6803  
Web: WWW.CKL.TW

# 今年が目玉は原住民グルメ! 台湾フェスティバル開催



一方、昨年と同様、台湾の伝統的な宴スタイルの「辦桌(バンジョウ)」も再現されていた。台湾風の円卓にする事で相席となり、そこに交流が生まれる事も狙った。なお当日も、会場内のブースで販売された「烤刺葱猪肉」



販売された「烤刺葱猪肉」をどくまで積み残せるか。できる限り多くの日本人に台湾を紹介したい」と、一昨年まで2日間開催だった同フェスティバルを、昨年より2日間増やし4日間開催にした理由に触れた上で、「純粋に台湾を広げたい」と開催の目的についても語った。

## 九天、東京初公演が実現

一方、台湾伝統パフォーマンス「九天民俗技芸団(以下:九天)」が来日し、同フェスティバルで東京初公演を行った。

九天とは、2012年映画「陣頭」で出演及び監修を行い、第49回金馬奨(台湾アカデミー賞)を受賞した陣頭パフォーマンスグループ。家庭に様々な事情がある14~19才の学生から構成され、台中市にあるお寺「九天玄女廟」で講師の指導の下、パフォーマンスの練習に日々励んでいる。

岡田代表理事は、「普段の生活では日本に来る機会がない九天の子ども達を、同フェスティバルに招待したい」との思いから、クラウドファンディングを1ヶ月間実施。招待するための資金調達に奔走した。しかし、当初設定していた予算には届かず、資金収集に困窮した。それでも招待する事を諦めず、岡田代表理事は同会の予算でやりくりする事を決心。強い思いが九天の日本公演を可能にした。

「お金は別に集まらなくても良かった。ただ、未来ある日本と台湾の子どもたちと交流するきっかけを作れたかった」と(岡田代表理事)。

なお九天は開催中、上野恩賜公園噴水広場の会場内を練り歩くパフォーマンスとステージ演技の2種類のパフォーマンスを披露し、多くの来場客を魅了した。



九天によるパフォーマンス。台湾フェスティバル。実行委員会

台湾を愛する会(岡田誠代表理事)が主催する「台湾フェスティバル™ TOKYO 2018」が6月21日~同24日までの4日間、上野恩賜公園噴水広場で開催された。

「台湾現地のグルメが味わえる」をコンセプトに、例年大勢の来場客で賑わう同フェスティバルだが、今年は新たな目玉として、台湾原住民・タイ族が販売する独特なグルメが目玉を浴びた。販売されたのは、タイ族の地域特有のハーブを使用した豚バラ焼肉「烤刺葱猪肉」と竹筒にもち米とアワを入れて蒸した「竹筒飯」。豚肉は宮崎県から新たな仕入れのルートを作るなど、岡田代表理事自らも食材の調達に関して全面バックアップし、現地の味の再現を目指した。また、民族衣装を身にまとったタイ族のスタッフがブース内で豚肉を焼き、さらにお米を蒸すのも魅力の一つだった。

タイ族が現地の味を提供している台湾グルメやドリンクを購入した来場客らは、辦桌エリアでおしゃべりするなど、終始賑わいを見せていた。

## 純粋に台湾を広げたい

なお、同フェスティバルは今年で5回目の開催だった。主催の岡田代表理事は開催し続ける事について、「僕が誘導してきたのではなく、ボランティアや出店者が能動的に動いてくれた。一人では到底成し遂げられない」と話し、毎年協力してくれるスタッフがいるからこそ5年目を迎える事ができた、関係者に感謝した。また、同フェスティバルの方向性を定めるため、今回の祭典内容について、出展者の満足度を上げる事に集中したという。

一方、岡田代表理事は、2020年の東京オリンピック終了後は、台湾ブームが下火になる可能性を示唆した。その上で、「オリ



辦桌では終始多くの来場客で賑わっていた

# 知らない台湾を見つけよう! 「まるごと台湾」開催



各地を紹介するパネルが設置されていた

杉並区交流協会(井上泰孝理事長)主催で杉並区共催のイベント「まるごと台湾フェア」が6月8日、セシオン杉並で開催された。6回目を迎えた今年のテーマは「環島ディスカバー台湾」。当日は、台湾世界遺産登録応援会の片木祐一理事や女優でエッセイストの青妙さんなど、台湾に精通している人による台湾観光に関する講演が行われたほか、展示室では、各地の観光地を紹介するパネルが設置されるなど、同フェアは台湾各地の魅力を発信する場となった。

杉並区交流協会の高橋光明事務局長によると、昨年台湾から訪日した観光客が約460万人だったのに対し、日本から訪台した観光客はわずか約190万に留まったため、「あまり知られていない台湾の魅力を伝えてほしい」との想いから、今年のフェアでは「花蓮」や「澎湖島」など台湾各地の魅力を伝え、訪台する日本人観光客の増加に貢献したいとその狙いを話していた。

なお、同フェアは観光紹介に加え、台湾民族衣装、台湾映画や雑誌などの販売、台湾の人形劇「布袋戯」をPRするブースが設けられたほか、場外では台湾タピオカミルクティーやパイナップルケーキなど台湾グルメの販売も行った。台湾の文化やグルメが堪能できる内容となっていた。

一方、同フェア開催と同時に開幕セレモ

ニーも行われ、杉並区の田中良区長、同会の井上理事長、高橋事務局長が出席したほか、来賓として台北駐日経済文化代表処政務部の王瑞豊次長らが招かれた。田中区長は「今後も杉並区と台湾の関係を広げていきたい。今日は1日台湾をまるごと楽しんでほしい」と述べた。

## 台湾に恩返し 杉並区と台湾の交流

杉並区と台湾の関係は7年前、「中学生野球交流事業」の取り組みにより始まった。2011年の東日本大震災後、同交流協会が福島県の南相馬市と災害時相互援助協定を結んでいる事から、「南相馬市の中学生が目標や夢に向かって集中できる機会を作りたい」との同会の要望に台湾政府が応じて支援し、同区と南相馬市は台湾で台湾の中学生と親善試合を行った。その後、杉並区は「台湾に恩返しをしたい」と考え、2013年より同フェアを開始し、現在まで毎年開催に至っている。

その野球と通じた交流面でも、2011年より毎年1回の交流試合が行われるなど親善が図られており、今年で8回目となっている。同セレモニーには今年の交流試合で活躍した中瀬中学野球部員も出席し、お礼の気持ちを込めて王次長に花束が手渡された。



片木理事による澎湖島に関する講演

# 新刊紹介

「日本精神」日台を結ぶ目に見えない絆」

東南アジアやインドの飢餓を救った福岡県大野城市出身の末永仁氏の功績を広く知らしめる記述もある。さらに九州国立博物館における台北国立故宮博物院展の開催、九州大学における台湾研究講座の開設、日本の高校生の台湾への修学旅行の定着・拡大など、着々と将来の日台関係の充実・強化に向けた手を打ってきた事も網羅されている。

現在、日台双方の人的往来は年間約650万人に達するなど最も親密な関係にあるとし、この背景には、統治時代に日本が欧米列強の政策とは異なる統治手法を取った事でインフラ整備を加速させ、教育に重きを置く政策に踏み切らせたと指摘している。また、統治時代の台湾では、知識の伝授とともに「武士道精神」を受け入れられ、戦後の排日教育が浸透する中でも、家庭で「口耳相傳」として伝えられたと解説する。結果、「遠い祖先と同じにしたような懐かしさ」を感じている多くの台湾人と、台湾で生まれ育ち日本に引き揚げられた「渡生」や、台湾人の行動に触発された若い日本人との間で「目に見えない絆」が形成されているのであろう、と結ぶ。ただ「それにしても日本人があまりにも台湾を知らなすぎず。何とかしなくては・・・」という著者のもう一つの面も垣間見られる。



戎義俊氏

著者は20有余年に渡り日本で過ごし、台北駐福岡経済文化辦事處處長(台湾総領事)としての重責を担ってきた外交官生活を送る。本書は台湾と日本の関係を具体的な例を挙げながら掘り下げ、今後の日本に対する期待を綴った内容で構成されている。また、中華民国総統・副総統の日本語通訳を務め、「親日家」というより「愛日家」として知られる著者は、日本が台湾を統治した50年間や戦後の東アジアの転換期に深く関わった台湾との関係性など、その知識を知らない日本人が多い事に歯がゆさを募らせていた。福岡着任後、自身の持つ行動力で九州・山口を駆けめぐり、日台間の交流を築き、深めるための努力に尽力した。2013年5月からの5年間に福岡を起点に九州・山口の7県を訪問し、その数は実に600回に迫り、公用車の走行距離も12万キロに達した事がそのすさまじさを裏付ける。

その体験を踏まえ、それまで知られていなかった日本人と台湾との関係を掘り起こし、これまでも世に伝えてきた。本書では、台中で教師をしていた熊本県玉名市の高木波恵氏と台湾に住む教え子とのテレビ電話による80年ぶりの再会に立ち会う事もできたとし、大甲の聖人として慕われ、神として祀られている同県益城町出身の志賀哲太郎氏の業績に光を当てた記述もなされている。また、熱帯の風土に合うように改良・開発した「蓬莱米」で台湾のみならず

著:戎義俊 刊:海鳥社  
本体価格:税別1600円  
頁:全232ページ  
判型:四六判 並製

2018年下半期 日本全国の台湾イベント一覧

- 7/6-7/8 台湾フェアin群馬 場所:群馬県庁一階 県民ホール
- 7/7 セタ恋愛成就祭 場所:鳥飼八幡宮
- 7/8 Go Go台湾フェス 場所:サンメッセ香川 小展示場
- 7/28-7/29 台湾フェスタ 場所:代々木公園
- 7/28-7/29 日本台湾祭りin北海道(札幌) 場所:アカプラ
- 8/18-8/19 宇都宮「トキメキ☆台湾フェス」 場所:オリオンスクエア
- 9/22-9/23 日本台湾祭りin上野 Taiwan Plus 場所:上野恩賜公園
- 9/29-9/30 リトル台湾in仙台2018 場所:勾当台公園市民広場(予定)
- 10/6-10/8 東京タワー台湾祭2018 場所:東京タワー屋外特設会場

※なお、表記は現時点でのものです。事前に告知なくお知らせや展示内容等に変更がある場合があります。

# 台湾人百人百色 「華僑の館」の料理人——盧文雄さん

文：林雅行(映画監督)

金門島の水頭集落には明の時代に港があった。大陸の中国人たちは金門に渡りここから南へ向かった。華僑である。清の時代になると移民の子たちによって大小の祠や廟が建てられた。住居には華麗な装飾が施された。水頭集落にはこうした華僑たちの建築物が残っている。

インドネシアで富を築いた一人の華僑が建てた館。海賊が狙って襲撃を繰り返したため防衛するための楼閣を築いた。正門は本楼といい、2階に上がると階下へ賊が進入した時の見張りのためのぞき窓がある。本楼の右の館は第一夫人の居(今は展示館)。そして左の館には第二夫人がいた。ここは今、「金水食堂」というレストランになっている。

入口の左横には山羊がいて、右は厨房。正面を入ると部屋がいくつもありここで食事を。入口右の厨房で調理するのが店のオーナーの盧文雄さんだ。金門生まれである。

金水食堂は2010年にオープンした。盧さんの料理は金門料理である。小粒の牡蠣、金門特産の芋、沿岸の魚、金門牛、金門そうめんなどである。

盧さんは、砲弾で包丁を作っている包丁職人の呉増棟さんの友人で、私は呉さんからこの食堂を紹介された。ロケに何度も訪れ(ロケ終了後はもちろん盧さんの料理を味わいました!)料理もさることながら内装も年代物で、華やかな装飾は無くなっているが座っているだけで落ち着く。部屋に入って目を閉じて、清代の華僑の盛んな往事を想像してみる・・・私は胸がときめく。

盧さんから食材のことを聞き特に金門の海の話聞いた。

金門島は台湾本島より長く戒厳令下にあった。島の海岸には地雷が敷設され、夜になると蛙人部隊という暗殺部隊が暗躍した。「中国大陸までゴムボートか泳いで渡り中国兵の歩哨の喉をかき切って戻ってくる。国民党軍のゲリラ部隊であった。そして耳を切り取り持ち帰ると賞金が出た。夜はもちろん昼も漁師は海に出られない。だから島の回りは岩牡蠣を始め魚介類が豊富だ。しかし今は中国から高速船で観光客が来る。海が汚れたら魚介類が取れなくなってしまう。もう数年もするとダメになる。」という。

実は戒厳令下でも特別に軍の「許可」を得て漁船は出ていた。沖に出て中国の廈門の漁民から彼らがとった魚をまとめて買い付けた。往復の燃料代だけで大量の収穫となった。密貿易である。これは島民誰もが知る事実だ。「金門人は廈門を経由して渡ってきた人が多い。親戚が廈門側にいて先祖の墓もある金門人も多いからね」(盧さん)。

国共内戦によって一族が分断されたのである。「盧さんは?」と何度も尋ねたが首を縦に振るだけで何も語らなかった。金門人と名乗るこの島の人々は、日中・太平洋戦争中は日本軍に占領され日本が去ったと思ったら国共内戦の最後の激戦地となり今度は台湾軍10万が常駐する最前線の島とされた。「台湾人の悲哀」だけに、昨年「金門人の悲哀」についても私は思いを巡らさず。砲弾包丁を作る



盧さん

呉増棟さんの言葉。「金門は台湾の中でも冷ややかな目で見られる。台湾のために金門人も血を流したのに。」

盧さんも同じことを語った。実は盧さんは呉さんの包丁を受用する料理人なのだ。砲弾から作られた鉄の包丁である。手入れは大変だが切れ味がいためプロの料理人に大人気。ヨーロッパからもインターネットで注文がくるという。廈門では、安価な偽物の呉さんの包丁も売られているらしい。

2013年に公開されたドキュメンタリー映画「呉さんの包丁」は、金水食堂の厨房で腕をふるう盧さんのシーンから始まる。

3度目だったか金水食堂を訪れたら、いつも入口横にいた山羊がいない!もしかすると食材に?おそろおそろの店の人に尋ねると館の前の広場の片隅を指差した。いました!メーっつと鳴いていました。盧さんは山羊料理は出さない。彼は愛犬家ならぬ愛山羊家なのです(微笑)。

# てくてく台湾旅(31) 金門から廈門にフェリーで行ってみよう

松田義人(deco/編集者・ライター)

わずか30分で中国へ入国!

金門で半日くらい時間が空いたので、せっかくなのでフェリーに乗って中国・廈門まで行ってみる事にしました。地図上で見ても金門と廈門は隣り合わせであり、実際わずか30分で着きますが、果たしてどれくらいの距離感なのかを体感したかった事もあります。

金門のフェリー乗り場、水頭港の駐車場に車を止め、ロビーに行きさっそく乗船チケットを買います。これからフェリーに乗る人、今フェリーを降りた人がゴック返しており、中には闇の両替を誘ってくるお姉さんもいます。人民元に不慣れなので、ここは当然公式の銀行で両替をしました。

フェリーが出航する時間までに、出国審査をします。これは通常の空港で行うミニ版といった感じですが、持ち物検査などはむしろ空路のそれよりも厳重な印象です。行き来しやすいからこその厳格なのか、それとも、かつての冷戦の名残なのか。後ろめたさはないのにやや緊張する時間でした。出国審査を済ませると、フェリー乗り場まで行くわけですが、途中にはこれまた空港同様の免税店などがあります。

乗船時間になりフェリーに乗り込むと、台湾人(金門人)、中国人が入り乱れての座席の奪い合いを経た後、やがて出航。



中国・廈門の五通港付近

窓の外に見えた水頭港がだんだん小さくなっていきます。

お化粧に夢中で対応してくれないお姉さん

アツという間に中国・廈門側の港、五通港に着きました。ここではさっきの逆で入国審査を経てロビーへ。思いのほか、ロビーにいる人が多かったため、売り切れたらマズいと、事前に帰りのチケットを買っておく事にしました。しかし、ここは中国だからか、たまたまなのか厳しい洗礼を受けます。

僕の中文が通じないばかりか、チケットカウンターのお姉さんは自分のお化粧に夢中で全く応じてくれません。仕方なく、近くにいた別の職員にお願いしてなんとかチケットを買う事が出来ましたが、肝心の時刻が全然違うものを買われたりして、また押し問答。

台湾であれば、たとえ言葉が通じない外国人だとしても無理ない範囲であれば、親身に付き合ってくれる人が多いですが、ここは中国。甘くないようです。

フェリー乗り場を出て、タクシーで第八菜市场というところを目指しました。高速道路をブツ飛ばし、巨大ビル群をくぐり抜けていくのですが、街並は金門に比べかなり近代化された島という印象でした。しかし、やがて着いた第八菜市场は、古き良き市場という感じで、肉から魚から野菜から業から漢方薬から何から何までゴチャマゼ。すごくエネルギーで、中国の生活感を感じられる面白い場所でした。

しかし、やはりここは中国。気になる物がある。買う際に話をしようとも、売ってる人がどうしてなのか皆さん、不機嫌そう。怒っているわけではなさそうですが、目が笑っておらず話かしくなったりして、正直言って「怖い」の連続でした。と同時に、つくづく台湾人は優しく、話がしやすい人が多いと改めて実感した次第です。

結局、第八菜市场とその付近で3時間ほど滞在し、そのまま元の道を戻り、数時間で金門に戻りました。距離としては確かに近い金門と廈門ですが、そこにいる人たち、習慣、雰囲気はかなりかけ離れた世界でした。

## 記者筆記!記事には書けない取材の裏側

文/バクチャー

### 台湾に留学する日本人が増加?

先日、「留学フェア」の取材に行ってきたのですが(3面参照)、最近では、台湾の各地域の大学にたくさんの日本人留学生がいる事を知り、驚きました。私が留学していた時代は、台湾でも留学できる大学が限られており、その数少ない大学に日本人留学生が集中している、という印象でしたが、現在では多くの台湾の大学が日本人留学生を歓迎しているみたいですね!同フェア担当の日本台湾

教育センター郭艶娜主任によると、今回のフェアは7回目の開催で、2012年に開催された第一回では、わずか6大学の出展だったみたいですが、今年は3倍にも当たる18大学が出展したそうです。また、2012年の日本人留学生は約4000人だったのに対し、昨年2017年は約8000人までに上ったそうです!その背景には、この留学フェア開催による影響も大きいと思います。

また、実は日本には台湾で4年制の正規留学をしたい学生をサポートする教室「台湾大學進學予備校」があるのです!台湾留学を目指す学生を支援するために2010年に設立され、現在では全国13箇所に教室があり、近くに教室がない場合

も集中合宿コースが受けられるなど、サービスも充実しております。入学すると、大学に関する情報提供や入学手続きのサポート、さらには入学後も相談に乗ってくれるなど、台湾留学に関して全面的にサポートしてくれるので安心して台湾に留学する事ができます。また台湾の大学とも直接繋がっているため、提携している大学であれば書類審査で進学できる場合もあるみたいです!

以前に増して、日本における台湾留学に関するサポートがこんなにも充実している事にも驚きましたし、たくさんの日本人が台湾留学に対して興味を持っている事も嬉しい気持ちになりました。これもひとえに日本と台湾が深い絆で繋がっているからですね。環境が整っている今、思い切って台湾への留学を考えてみては如何でしょうか?



フェアに参加した 横浜中華学院の生徒

## タイワニーズ 故郷喪失者の物語

本書のタイトル「タイワニーズ」は、複雑かつ変化に富んだ台湾の人々の呼称をあえて曖昧な表現にし、さらにカタカナ表記により拍車をかける。本書に登場する本人やその家族に多少なりとも台湾との血統的なつながりがある者の総称として著者は定義づけている。

帰属すべき祖国、故郷を探し求めてきた人にスポットを当て、政界、経済界、芸能界、飲食業界など様々な業界で活躍した人物全11人の生き様をオムニバス形式によりノンフィクションで描写したのが本書である。第一章から終章まで六項目の構成で、それぞれの人物描写の最後にその人の活動した同時期の世の中の動向が記載してあるところも特徴である。時代と連動した表記は理解しやすく、その人の生き様を想像するための便宜も図られている。

ジャーナリストの著者はこれまで新聞記者として台湾に所縁を持つ人物を数々取材してきた。日台のかけがいのない財産としてその軌跡を作り上げ

た人物こそ「タイワニーズ」とし、現在の日台の絆の礎は「人」であり、描写した人物こそが立役者である、と力説する。なお、取材人物の選定で留意した点を「ファミリー」と位置づけ、それぞれに家系図を表し、祖先やその家族の辿った系統及び背景をも記述している。

また副題を〜故郷喪失者の物語〜としたのは、台湾を故郷としながらも祖先の関係を尊重し自身の立ち位置を定め、いわゆる「公益性」を心の中に持ち合わせる人徳者としての個を表現したかったのだろう。歴史に翻弄されつつも法治国家としての国籍や故郷など属性にとらわれない、あえて生命のエネルギーに変え、たくましい親観によって人生を切り開いた人物に著者は敬意を表す。おそらく著者は人間を通して台湾を描きたかったのだろう。本書を読み終ると台湾の人の心の中を垣間見た気がしてならない。魂に響く一冊である。

### 読者プレゼント企画

台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で2名様に本書「タイワニーズ 故郷喪失者の物語」をプレゼント致します!応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見ご感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(7月中旬に発送予定)。締切り:7月15日(消印有効) 株式会社台湾新聞社編集部 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045



刊:小学館  
型:四六判  
頁:315ページ  
価格:本体1500円+税  
発行:2018年6月13日発行  
著者:野嶋剛

台湾新聞255号読者プレゼント  
応募券

## Photo de TAIWAN 第十九回

台湾在住20年写真家 熊谷俊之



### 標高3275m 台湾国道最高地点「武嶺」

南投

私は2013年6月に自転車台湾一周(環島)したのち、2015年7月に再び自転車花蓮駅から標高3275mの台湾国道最高地点「武嶺」を越え、台中駅まで走りました。日本で二番目に高い北岳の標高が3193mですので、それ以上の高さを自転車で登ったことになりました。



下りは少し寄り道をして廬山温泉で一泊しましたが、疲れ切った体を回復させるのにはとてもいい休養になりました。撮影日時:2015年7月

※写真で台湾を伝えるコーナー「Photo de TAIWAN」では、台湾在住20年の日本人写真家・熊谷さんの写真を通じて、まだ知らない台湾をお届けします!

### お便り募集のお知らせ

台湾新聞では随時お便り募集しております。台湾新聞に関しての感想やご意見、質問、やってほしいコーナーのリクエストなど、どしどし受け付けております。皆様のお力を借りながら台湾新聞を盛り上げていきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

お便りの送り先は下記まで!

メール info@taiwannews.jp

手紙・ハガキ 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4

株式会社台湾新聞社

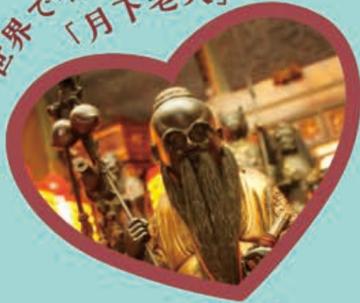
# 日本台湾祭りin北海道

JAPAN TAIWAN FESTIVAL 2018

## こころにとどく元気 \* おなかにとどく幸せ

♡ 花蓮地震義援金活動実施中

世界で有名な恋愛の神様  
「月下老人」

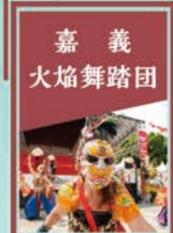


祝!北海道命名150年!



その先の、道へ。北海道  
Hokkaido. Expanding Horizons.

夏だ!祭りだ!台湾だ!



### 北3条広場

#### 2018年

7月28日(土) - 7月29日(日)



主催: 台日文化交流基金 運営: 株式会社台湾新聞社  
 協賛: 北海道日台親善協会連合会、釧路国際化推進協議会、  
 恵庭日台親善協会、東京華僑総会、留日台湾同郷会、埼玉台湾総会、日台親善協会、  
 (社)日本台湾不動産協会、(社)日進人材派遣協会、世界華人工商婦女企管協會、  
 エパー航空、チャイナエアライン(中華航空)、東永商事株式会社、南越谷健身会クリニック、札幌日台親善協会、株式会社大三元、登別日台親善協会  
 後援: 台北駐日文化代表処札幌分処、北海道、札幌市、釧路市、(公社)北海道観光振興機構、札幌観光協会、  
 台湾観光局・台湾観光協会、台湾文化センター、台湾貿易センター、北海道新聞社、北海道放送株式会社、HTB北海道テレビ、北海道文化放送

会場 札幌市北3条広場 日程 2018年7月28日(土) 12:00~21:00 7月29日(日) 10:00~18:00



入場料 無料

雨天 決行

日本台湾祭り 2018 in 上野 Taiwan Plus 開催予定  
2018年9月 22-23 in 上野恩賜公園

# 臺灣新聞

2018年7月2日 NO.255 (每月第1日曜日・東京發行) TAIWAN NEWS ◆ 僑界版

訂閱一年份方案 長期訂閱台灣新聞，更加了解台日新鮮事

超划算 1 免運費，每個月第一個星期一最新報刊送到家

超划算 2 訂閱一年份，只要3500日幣  
※一年發行12期，每期350日幣，原價4200日幣

訂閱方法僅需將姓名、地址、連絡電話等資料傳至  
TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0047 E-MAIL: info@taiwannews.jp



國民黨主席吳敦義  
解析年底選情



▲陳建仁肯定華僑為國家的貢獻，也提升  
台灣的能見度。(總統府提供)



▲陳建仁與眾人合影。(總統府提供)

## 東京華僑總會 留日台灣同鄉會回台參訪 獲陳建仁副總統接見

【台北／綜合報導】中華民國留日台灣同鄉會、中華民國東京華僑總會共三十幾人聯合組成回國致敬訪問團，從六月六日至九日止，共回台訪問四天，僑團前往立法院、僑委會拜訪，並獲得副總統陳建仁接見，陳副總統感謝僑團長期以來的支持，期盼能繼續幫助政府拚外交，另外，距離年底九合一選舉僅剩數月，僑團也特別拜訪國民黨，關心選情。

首先由陳建仁代表蔡英文總統對日本僑團專程回國訪問，表達誠摯歡迎之意，並表示，訪團成員都是日本僑界的重要領袖，在日本積極服務僑胞，像是東京華僑總會創立七十多年來，始終支持著中華民國

國，並全力配合政府推動僑務和國民外交等工作，特別是每逢十月國慶日時，都能結合僑學界團體在東京中華學校舉辦國慶慶祝大會，不僅幫助台灣提升能見度，也展現每位僑胞的愛國熱忱。

陳建仁提到，留日台灣同鄉會也成立超過七十年，是日本具代表性的僑會之一，不論在服務僑胞或留學生皆成果斐然，而留日台灣同鄉會最近剛與菲律賓台灣同鄉會締結姊妹會，這次能與東京華僑總會組團回台，證明海外僑會的凝聚力以及對國家的支持，他也再次代表總統致上感謝和最高敬意。

陳建仁指出，台日的地理位置相近，交流歷史悠久，關係也十分密

切，特別是在經貿、觀光、文化及科技等領域有很好的互動，而去年一月日本交流協會正名為「日本台灣交流協會」，同年五月我國亞東關係協會也正名為「台灣日本關係協會」，兩國已成為印太地區重要的戰略夥伴。

### 陳建仁盼僑會繼續支持 幫政府拚外交

其中，陳建仁也提到，台灣的經濟成長與亞洲許多國家具有高度的關聯性，他希望日本僑界能運用長期深耕的人脈、資金及資源，結合政府經貿政策的戰略藍圖，為台灣在國際上發聲，並以協助台灣加

入《跨太平洋夥伴全面進步協定》(CPTPP)等亞洲區域經濟整合機制，同時，協助政府與日本政府進一步簽訂「台日經濟夥伴協議」(EPA)，以增進彼此的經貿合作關係。

陳建仁說，台日雙方在文化、經濟發展與區域穩定等各方面能有非常緊密的合作，都是因為有旅日僑胞長期的努力，不但建立了兩國民間堅實的友誼，也成為雙方維持和加深關係的原動力。最後，他也希望日本僑界能繼續幫助政府拚外交、拓展對外關係，讓更多人來投資台灣，讓台灣能夠證明自己是國際上不能忽視的國家。

兩僑團拜訪立法院時，由蘇嘉全院長親自接見，東京華僑總會林學明會長說華僑在國外愛國心不變，政府有任何需要，華僑一定立刻回國馳援。拜訪僑委會時，由台灣同鄉會張春美會長、林學明會長跟

吳新興委員長針對僑務進行意見交換，並互贈紀念品。

### 僑團拜訪國民黨 關心年底選情狀況

針對年底選舉，兩僑團也拜訪國民黨了解選情，吳敦義主席說，除了力保現在在國民黨現在執政縣市外，其他選區希望力爭五到七席縣市長的勝選，對選情持保守審慎的態度，不過吳敦義也說現在民調上總統的支持率跟不支持率出現死亡交叉，再加上空汙，基本工資及外交，兩岸等問題，年底至少要力保新北市。對照現在台北市熱鬧選情，吳敦義認為說不定有利丁守中，不過要激起國民黨支持者投票熱情，讓不滿現況者不是不投票而是用選票表達自己態度，必須要提出更有效實際的政策，讓選民決定是否買單。

## 林佳龍P I K O太郎同台 宣傳台中花博

【東京／採訪報導】台中市政府六月十五日上午在東京澀谷舉辦花博宣傳會，吉祥物石虎姊弟，LOVE跟LIFE在澀谷109百貨前與路人可愛互動，記者會上，花博宣傳大使P I K O太郎改編招牌P P A P，即興創作「一起去花博」主題歌，台中市長林佳龍也特別邀P I K O太郎搭乘東京台中直航班機訪問台中，跟太太來吃鳳梨酥，喝珍珠奶茶。

在台灣年底六都選情緊繃時期，台中市長林佳龍率領台灣媒體，市府局處官員及台中市議員等藉台中東京直航機會，來日宣傳十一月三日開始的花博。市府邀請到創作P P A P的P I K O太郎為花博宣傳大使，他表示，

上周才去台灣，台灣不僅有鳳梨酥，還有鳳梨蘋果汁，跟P P A P搭配剛剛好。林佳龍表示，P I K O太郎是日

本外務省在聯合國推動永續發展目標的大使，花博也是推展永續利用，跟P I K O太郎的理念不謀而合，市府與P I K O太郎將一起打響台中花博在國際的知名度。

林佳龍(左2)率議員與P I K O太郎合照  
林市長也讚賞他的創作力，表示回國會練習舞步，希望未來有機會跟P I K O太郎一起表演。

這次台中花博場地在后里，外埔，豐原，以石虎棲息地及百年后里馬場知名，趁著花博，將人與自然共生及文化資產保存作為主題，花博的建設不是一時觀光客的招攬，而是永續對地方生態環保，產業共生的推動。林佳龍也藉此次參訪東京建設，做為日後台中都市計畫參考。

## 留學展國旗飄揚互動佳 田川莉紗會長感動不已

【茨城／綜合報導】由日本台灣教育中心召開的「留學展」於六月二十日開幕，首站來到茨城縣牛久市東洋大學附屬高等学校，與來自台灣各地的大學一同召開留學生說明會，茨城縣華僑總會也特別提供支援和關心，讓雙方的互動更加順利，盼能藉此促成台日學子間

的交流。說明會結束後，主辦單位、各校教職員、茨城縣觀光課職員、翻譯等紛紛拿著東洋附屬高校準備的台灣國旗合照，讓茨城縣

華僑總會會長田川莉紗表示，能在日本看到這麼大面的國旗並合照，再加上看到那麼多日本學生想到台灣念書，真的非常令她感動不已！也相信台日之間的關係會越來越友好。



茨城縣華僑總會會長田川莉紗和縣廳國際觀光課職員、郭先生一同與國旗合影

《台灣新聞》將於2018年8月號(256期)日文版刊登夏日問候名片廣告(暑中お見舞い名刺廣告)，歡迎各僑社、企業團體利用此次機會向讀者打招呼，進而提升各社團和企業形象，增加宣傳效果。

1格(長79mm×寬58mm)2万円(含稅) 2格(長79mm×寬118.25mm)3万円(含稅)

※固定設計格式 申請2格廣告的單位，請自行提供廣告檔案(如需協助設計廣告稿，須另加設計費1万円) 申請截止日期:2018年7月12日(四)

詳情請洽《台灣新聞》TEL:03-5917-0045 FAX:03-5917-0047 或 info@taiwannews.jp

# 台灣企業聯誼會 莊碩漢東京演講



外貿中心副董事長莊碩漢來日演講

【東京／採訪報導】東京台灣商工會在六月二日下午於國際中正會館舉行台灣企業聯誼會，邀請到中華民國對外貿易發展協會副董事長莊碩漢前來舉行專題演講。共有七十名台商及駐日台企幹部參加，其中也有首次參加活動的台企成員，大家互相認識交流，為日後商機尋找合作機會。

莊碩漢是前往大阪參加日總活動前，特別抽空前來東京，除了解關東地區台企及台商狀況外，也特別就目前國際外貿情勢及政府新南向政策提出說明。莊碩漢說川普對中國展開的貿易大戰，狀況一日數變，顯示川普的商人性格，包括鴻海之前在美國設廠等，川普所謂的製造業留在美國等，其實是為了下

一屆大選考量，爭奪美國中西部白人藍領族群的選票。

而台灣如何在這場貿易戰中全身而退，莊碩漢表示，小英政府的新南向，不只東南亞，也包括印度周邊各國，在2017年的統計數字在經濟成長率及外銷數字均有大幅成長，失業率也明顯下降，顯示政府的經濟政策成果豐碩。不過要如何將經濟成長落實到民眾的實質薪資中，莊碩漢在受訪時表示，政府這兩年來調高公務員薪資及鼓勵企業加薪，確實是朝向經濟成長，全民共享的方向在進行，大家要相信政府。

東京台灣商工會陳慶仰會長表示，之前台灣企業聯誼會都是由外貿協會東京事務所主辦，這次東京

外貿中心副董事長莊碩漢來日演講，讓關東台商跟駐日台企能有更多機會互動，前會長錢妙玲也說，這些年來，東京台灣商工會為在日台商的發展注入許多心力，就是希望會員的事業能更加成功。外貿協會吳俊澤所長表示，七月將會在早稻田大學舉辦台灣企業說明會，還有台灣精品展示會及六月會舉行一個荔枝包存技術發表會，將台灣高品質的水果改良技術介紹來日本，日後在日本也能買到紅豔豔的新鮮荔枝。



70名台商及駐日台企幹部前來聽講



東京台灣商工會名譽會長錢妙玲



台灣貿易中心東京事務所吳俊澤所長說明外貿中心活動

## 國建會夏季演講會 在日學人基因改造基因編輯研究

【東京／採訪報導】2018夏季國建會日本聯誼會在六月十七日中午於池袋舉行，五十多位國建會會員參加，會長丁鴻田說明這一任來招收新成員頗有成效，台北駐日經濟文化代表處教育組林世英組長也以台灣近來大學退場及日本大學整併情況向各位會員提出探討，會中邀請現於埼玉大學任教的葉顯銘老師以他研究的基因改造，基因編輯科技進行演講，葉老師認為基因科技是解決目前人類糧食危機的有效方案，不過一般人在食品安全上存疑，所以他進行的是將基因科技應用在蝴蝶蘭改造上，已經得到肯定。



國建會夏季演講會

會，擴充會務範疇，此次演講的葉老師也是埼玉台灣總會副會長，學界跟僑界的交流，活絡海外華人社會，葉老師表示，他將在日本研究生物科技的成果與台灣農業產業結合，實驗產品量化，正是海外學成回饋國內的最佳示範。

在葉老師演講後，在場會員也紛紛提問有關基因改造食品安全性，及複製移植技術在倫理道德上的問題，雖然市面上很多食品強調非基改，葉老師說有許多是

只是混充比例，未防病蟲害的基改食品幾乎不存在，不用因噎廢食，而生物科技的加速進程，相信不久，這些有疑慮的基改農作將會被更新的生物科技產品替代。

丁鴻田會長表示他上任以來增加了13位新會員，相比日本政府招攬海外人才放寬簽證，台灣人才外流日趨嚴重，這有關國內教育問題，在11月，將邀請教育部政務次長姚立德前來演講，順便說明台灣目前的拔管爭議。

## 日總經貿論壇 郭仲熙謝推動交流不遺餘力

【和歌山／綜合報導】日本台灣商會聯合總會六月三日於和歌山舉行經貿論壇，約有來自日本各地區分會的七十名理事參加，並邀請到外貿協會副董事長莊碩漢演講，以「台日合作新南向進行式」為題，指出外銷數字大幅成長，顯示政府政策成功，駐日本副代表郭仲熙出席也感謝各會積極推動台日交流。

論壇首先由莊碩漢暢談新南向，他表示，政府的新南向不只有東南

亞，也包括印度周邊各國，而從2017年的統計數字中能發現，經濟成長率及外銷數字均有大幅成長，失業率也明顯下降許多，正說明政府的經濟政策成果豐碩。

隨後總會也召開第六屆第二次理事聯席會議，駐日本副代表郭仲熙和僑務組組長王東生、秘書文君妃皆列席參與，由總會長陳潘森主持，讓各地區的會長會務報告和議題討論，會議時間約兩小時。

會議後晚間舉行親睦餐會，亞

洲台灣商會總會長江文洲、越南台商總會長許玉林、名譽總會長劉美德、馬來西亞台商總會長許正得、香港台灣工商協會會長邱文潛、柬埔寨台灣商會資深秘書長陳克捷等亞總來賓及總經理監事近百人出席，並安排卡拉OK助興，各地方理事更是利用難得機會，與亞總團隊交流熱絡，尋找商機。

郭仲熙致詞時表示，台日兩國近年來在文化經濟及觀光等各項交流飛躍成長，感謝日總各地區總會協助推動臺日民間交流，為臺日之間創造更多商機。

陳潘森致詞時則感謝亞總團隊蒞臨，希望在任內能帶領日總團隊更上一層樓，同時頒發各工作委員會負責人聘任證書，並捐贈日總青商部一百萬日圓，做為青商成員辦理活動的會務發展基金。



日本台灣商會聯合總會經貿論壇出席人員合影

## 全日教連定期大會 代表處教育組長林世英出席

【東京／綜合報導】全日本教職員連盟（全日教連）第35屆定期大會於六月十日在東京都城市中心飯店舉行，計有該連盟全日本加盟教育團體代表約200餘人參加。大會邀請日本文部科學省大臣政務官宮川典子、眾議院議員馳浩（前文部科學大臣）、浮島智子、日本文部科學省大臣官房審議官下間康行等出席；代表處教育組長林世英也應邀出席致詞。

林世英感謝全日教連成立以來，基於與台灣具有共同的教育信念，每年籌組「中華民國日本教師訪華團」進行教育交流，建立台日深遠的聯結情誼。

全日教連七月一日在山口縣防府市舉行「華日教育學術檢討會」之際，聯盟將與台灣省教

育會簽署國際教育交流合作備忘錄，進一步推動國中小學教職員工交流及教育資訊交換等具體教育交流活動，提升實質教育合作及情誼。

林組長表示，全日本教職員連盟系，會員人數約2萬餘人，是日本第4大教育團體，自成立以來，與我教育交流密切。台日都將實施中小學新課程，在此教育交流的密切關係發展下，期待與日本教師相互切磋琢磨，教育組將做為台日教育交流橋樑，提供良好教育政策資訊，共同建構友好關係。



林世英出席全日本教職員連盟定期大會

## 青森舉行 東北六縣華僑總會親睦會



東北地區華僑總會親睦會

【青森／綜合報導】第26回日本東北六縣華僑總會親睦會六月九日在青森縣津沢舉行，台北駐日經濟文化代表處謝長廷代表、張瑞麟秘書、僑務組組長王東生、文君妃秘書、查證組何仲民副組長等特別前來與會，日本中華聯合總會新垣句子會長、毛友次名譽會會長及日本各地華僑團體會長們都到青森參加。

東北六縣華僑總會是1988年成立，為了團結人數少的東北地區僑胞，每年會輪流舉辦親睦會，今年是由青森中華總會主辦，在座談會上，東北六縣的華僑團體說明各地的活動，未來的計劃，懇親會上各地僑團並為謝長廷代表駐日兩周年舉行祝賀活動，加深東北跟日本各地華僑的親睦。

東北六縣華僑總會親睦會明年將輪由秋田主辦，也希望更多日本僑界先進明年來到秋田，給東北僑胞更多關心鼓勵。

# 沖繩二戰台灣人戰亡者慰靈碑揭幕 李登輝提字「為國作見證」

【沖繩／綜合報導】出訪日本沖繩的前總統李登輝，於六月二十四日參加於糸滿市摩文仁和平祈念公園的沖繩二戰時台灣人戰亡者慰靈碑揭幕儀式，慰靈碑上的題字「為國作見證」也是由李前總統親手揮毫寫下。

前總統李登輝應那霸市日本台灣和平基金會理事長西田健次郎的邀請，從六月二十二日訪問沖繩那霸市訪問四天，六月二十四日出席和平祈念公園的台灣人戰亡者慰靈碑揭幕儀式，另外，李前總統夫人曾文惠、駐日代表謝長廷、內閣府大

臣輔佐官島尻安伊子、日本醫療法人輝生醫院理事長王輝生等人也一同出席。

李前總統致詞時表示，戰爭恐怖且無情，許多寶貴生命就此犧牲。1945年二月沖繩島戰役前，有一批從台灣基隆等地調度約九百噸的台灣白米，運到沖繩，分送沖繩軍民使用，順利拯救數以萬計沖繩軍民性命，而在慰靈碑上可看34位台灣籍死難者，其中可能有人也是參與此次運送的行動。

李前總統說，身為台灣人的我，熱愛我的國家，將畢生所學貢獻在

我所熱愛的台灣土地上。一生中因為戰爭見證太多的磨難。更因為戰爭見證為了生存應如何積極面對生命。

李前總統提到，會在碑上寫下這五個字是因為人類從歷史中學到教訓，人類之所以偉大的其中一個理由是因為具有學習能力。人類能夠學習是因為有前人給我們樹立的榜樣，用他們的生命為歷史作見證。也因為他們的榜樣與見證，讓後人學到教訓，知所選擇。

他也強調，只有和平、自由、民主，讓人類永遠偉大。願大家都來

為生命的寶貴做見證，把和平、自由、民主，一代一代傳承下去，讓人類文明，持續偉大。

和平祈念公園內，1975年就建立祭祀韓國出身戰亡者的「韓國人慰靈塔」，但台灣人的慰靈碑「台灣之塔」直到2016年才設立，由蔡英文總統特地為這座塔落



李登輝前總統出席沖繩二戰時台灣人戰亡者慰靈碑揭幕儀式

款。在這次設立的慰靈碑上，用日文寫著當年日台戰士皆為同胞、生死與共，榮辱同擔。無論時代如何變遷，族群國家如何分隔，凡犧牲一己性命守護他人的義舉，不應被後世遺忘。

## 花蓮縣府訪東京 僑團設宴接風



日本三僑團宴請花蓮縣府合照

【東京／採訪報導】花蓮縣長傅崐其六月二十五日率縣府團隊二十人來到東京參訪，首先參拜淺草寺，隨後到東京媽祖廟團拜，祈求神明護佑此行一切順利。當晚，日本中華聯合總會，中華民國留日東京華僑總會，中華民國留日台灣同鄉會都組團回國訪問，其中留日東京華僑總會，留日台灣同鄉會訪問花蓮時，因傅崐其另有行程，未能見面。此次三僑團聯合設宴，歡迎花蓮縣團隊，傅崐其表示感謝，也藉此機會向當時未能見到的僑團表達歉意。

傅崐其表示與日本中華聯合總會名譽會長詹德薰是多年老友，感佩在日華僑離鄉背井奮鬥，闖出一片天，留日東京華僑總會林學明會長也說訪問花蓮時，對當地震災復興之迅速趕到敬佩，希望日本僑胞多多支持好山好水的花蓮。

七月在札幌舉辦的台灣祭，也會捐款給花蓮震災，見證日本各地僑界以實際行動，在推動台日交流及關懷故鄉的努力。

縣府團隊對廟方在東京能建設出如此原汁原味的台式廟宇感到讚嘆，也感謝媽祖廟信徒們在地震時對花蓮的關心。

在六月份，日本中華聯合總會，中華民國留日東京華僑總會，中華民國留日台灣同鄉會都組團回國訪問，其中留日東京華僑總會，留日台灣同鄉會訪問花蓮時，因傅崐其另有行程，未能見面。此次三僑團聯合設宴，歡迎花蓮縣團隊，傅崐其表示感謝，也藉此機會向當時未能見到的僑團表達歉意。

傅崐其表示與日本中華聯合總會名譽會長詹德薰是多年老友，感佩在日華僑離鄉背井奮鬥，闖出一片天，留日東京華僑總會林學明會長也說訪問花蓮時，對當地震災復興之迅速趕到敬佩，希望日本僑胞多多支持好山好水的花蓮。

七月在札幌舉辦的台灣祭，也會捐款給花蓮震災，見證日本各地僑界以實際行動，在推動台日交流及關懷故鄉的努力。

## 郭倍宏東京演講 公投補正去大鳥籠

【東京／採訪報導】全日本台灣連合會一周年演講會邀請到民視董事長郭倍宏六月二十四日下午在東京赤坂以蔡英文政權三周年及喜樂島聯盟籌組為題發表演講，包括主辦單位趙中正會長及台灣文化中心主任朱文清代替目前陪都總統李登輝訪沖繩的駐日代表謝長廷，致詞歡迎郭倍宏。

郭倍宏以諷刺的角度闡釋他過去的黑名單逃亡生活，讓現場聽眾笑聲不斷，由此引出接棒蔡同榮，經營民視，為台灣發聲，以及為實現台灣人民有決定自我前途的權利，籌組喜樂島聯盟，推動公投修法，正名人聯等理念。

民視董事長郭倍宏成立喜樂島聯盟以來，不會組黨參選總統，但在海外多年推動台灣獨立，直言不滿蔡英文總統獨斷的作法，讓去年底立法院公投法修法，成為不能公投國家前途的大鳥籠公投。

原本郭倍宏是預計到八月前，等待政府對喜樂島

聯盟的公投法補正訴求有善意回應，但目前喜樂島有民進黨及時代力量三十幾位立委及李登輝，陳水扁兩位前總統及八位縣市長參選人的支持，在六月十七日，台中的活動中，郭倍宏看到動員的力量，他表示，在日本之後，他還要到美國，加拿大等地演講，目前海外台灣僑胞社團有95%支持喜樂島聯盟，為了不辜負這些前輩，喜樂島會堅定訴求，不排除號召十萬人民前進總統府，讓蔡英文政府聽見人民的聲音。

現場也有留日學生提問，美國會議員公開發言支持台灣，現在國際情勢是否對我好，郭倍宏表示，川普商人性格是利益優先，所以不會放手讓中國取得太平洋優勢，不過喜樂島的公投主張是台灣前途台灣人民自決，這是普世人權，藉由公投向國際發聲，讓更多人看見台灣人訴求，才是台灣往世界踏出的第一步。



會後大合照



文化中心主任朱文清(右)主持開幕典禮

## 跳脫傳統藝術框架

# 《台灣色彩—曾郁文日本東京展》

【東京／採訪報導】日本台灣文化中心在六月十五日下午舉行《台灣色彩—曾郁文日本東京展》的開幕典禮，曾郁文選出13件代表作品來東京展出。因公未能出席的謝長廷代表也以書面為曾郁文的作品來日展出表示恭喜。

曾郁文出生台南，成長的街道上充滿宮廟、道士，深受傳統宗教影響，雖然擅長水墨作品，但將台灣傳統色彩運用到水墨畫

曾郁文出生台南，成長的街道上充滿宮廟、道士，深受傳統宗教影響，雖然擅長水墨作品，但將台灣傳統色彩運用到水墨畫

曾郁文出生台南，成長的街道上充滿宮廟、道士，深受傳統宗教影響，雖然擅長水墨作品，但將台灣傳統色彩運用到水墨畫

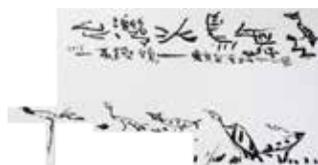
並區交流協會、相田みつを美術館、藝廊關係者等藝術界人士50餘名貴賓出席，曾郁文對日本觀眾反應熱情表示感謝，他希望藉此將台灣傳統文化跟藝術結合的方式，讓海外人士更了結台灣，有機會將會前進日本更多展場，讓更多人了結台灣藝術家在創作上展現的活力。



紅綠色的少女水墨



曾郁文自比為農夫 自畫像



曾郁文畫展

### 摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩。行深般若波羅蜜多時。照見五蘊皆空。度一切苦厄。舍利子。色不異空。空不異色。色即是空。空即是色。受想行識。亦復如是。舍利子。是諸法空相。不生不滅。不垢不淨。不增不減。是故空中無色。無受想行識。無眼耳鼻舌身意。無色身香味觸法。無眼界。乃至無意識界。無無明。亦無無明盡。乃至無老死。亦無老死盡。無苦集滅道。無智亦無得。以無所得故。菩提薩埵。依般若波羅蜜多故。心無罣礙。無罣礙故。無有恐怖。遠離顛倒夢想。究竟涅槃。三世諸佛。依般若波羅蜜多故。得阿耨多羅三藐三菩提。故知般若波羅蜜多。是大神咒。是大明咒。是無上咒。是無等等咒。能除一切苦。真實不虛。故說般若波羅蜜多咒。即說咒曰。揭諦揭諦。波羅揭諦。波羅僧揭諦。菩提薩婆訶。

# 台日扶輪交流情誼長久 日本米澤扶輪社跨海訪問台東東區扶輪社



日本米澤扶輪社45周年授證時，台東東區扶輪社長林淪鳳也帶領社友20餘人跨海到日本祝賀。

這次由林淪鳳社長及社友陪同下，在史前博物館日語導覽中詳細為日本友人介紹了台灣史前的文化。展場中大型的史前生物雕像活靈活現的在眼前出現更讓遠道而來貴賓大呼驚奇，其中台東卑南文化出土文物及史前博物館鎮館之寶人形玉玦，更讓米澤社友留下深刻印象，參訪結束後於史前博物館合影。隨後抵達娜路彎酒店召開聯合例會，在例會結束後聯誼餐會台日扶輪社友互動熱絡，更為此次台日民間國際交流成功畫下圓滿句點。

米澤扶輪社小泉雅行社長進一步表示，兩社締結30年來，雙方彼此交流、互相關懷，今年花蓮地震時，也是彼此相挺鼓勵，日本今年11月份將開通日本山形縣到台北直航班機，未來兩社互訪將更方便，更期望兩社能在國際服務，社區公益扶助弱勢等活動更加活躍，共同讓扶輪的愛心散布到世界。

米澤扶輪社訪問台東

【台東／綜合報導】日本米澤扶輪社訪問團一行6人，由小泉雅行社長領隊，訪問台東東區扶輪社聯誼並舉行聯合例會，台東東區扶輪社長林淪鳳表示，感謝去年訪問米澤扶輪社受到小泉社長及社友熱情款待，為促進雙方扶輪社友進一步文化交流，安排米澤扶輪社參訪台東史前博物館，台東東區社友更是準備了多項精彩的才藝表演，讓日本社友感受到台東人的誠意與熱情。

日本國際扶輪第2560地區米澤扶輪社與3510地區台東東區扶輪社締結姊妹社30年來，日本友人多次組團來台進行國際交流訪問，去年日

# 駐那霸辦事處蘇啟誠處長參加宜野灣扶輪社例會



駐那霸辦事處蘇啟誠處長(前排右5)與沖繩縣宜野灣扶輪社全體會員合影

【沖繩／綜合報導】沖繩縣宜野灣扶輪社於六月十三日中午召開定期例會，邀請駐那霸辦事處蘇啟誠處長參加。柏田吉美前會長特別介紹蘇處長成為名譽會員經過，並表示蘇處長即將調往大阪，本次是最後一次參加例會。

蘇處長致詞表示，自己2006年元月首次派駐沖繩，繼於2013年十二月二度派駐服務，與沖繩頗有緣份。赴任迄今已過四年半，五月初接獲改調大阪辦



駐那霸辦事處蘇啟誠處長在宜野灣扶輪社例會中致詞

# 台日關係佳 日本觀光物產博覽會 入場人數破13萬

【台北／綜合報導】由日本觀光物產協覽會實行委員會主辦的「2018日本觀光物產博覽會」於六月二十二日至二十四日登場，分別在台北車站一樓中央大廳、遠東SOGO台北忠孝館12樓展出，讓民眾能就近參加，因為近年來兩國友好、交流頻繁，今年博覽會入場人數大增，一舉突破13萬人，也突顯出台日關係緊密。



日本觀光物產博覽會盛大開幕，參觀人數突破紀錄時鞏固及深化台日的關係。

這次活動不僅有株式會社—日本旅行、台灣觀光協會支援，也獲得台灣觀光局、鐵路局的指導協助，讓今年的活動主題從「想去看看」晉升成「實際前往」，並從「知道日本情報」轉化成「實際想要」，而這次也是首度設置第二會場，召開雙會場的日本觀光物產博覽會。

主辦單位表示，來台的日本觀光客2017年超過190萬人，到日本的台灣觀光客也來到456萬人，互相交流達到史上最高紀錄，今年進一步加速台日相互出國觀光旅行的熱潮，更重要的是想透過舉辦活動，感謝台灣民眾在東日本311大地震和熊本地震的熱心援助，同

日本觀光物產博覽會至今舉辦六屆，建立良好的口碑，每年參加人數不斷增加，今年觀光展共有來自日本各地五十個單位、團體、五十六個攤位參展，SOGO百貨公司則有共十個單位十五個攤位參展，參觀人數今年也來到13萬2000人，突破歷史新高，讓台日之間的交流更加密切。

# 東京媽祖廟端午祭拜除穢去障



端午準備粽子祭拜

過中午太陽稍稍露臉，端午的太陽有驅邪健體的效能，把握時間接陽氣，讓這一年身體健康，精氣神暢旺。在誦經之後，一起享用廟裡的素齋，及端午粽子，下午是為一些完成誦經功課的信徒，向媽祖呈報疏文，為了家人父母子女的平安，每日不間斷的修持，固定完成媽祖交代的功課，提升自己，也能看到家人的越來越好的進步。

【東京／採訪報導】東京媽祖廟在農曆五月五日，陽曆六月十八日早上舉行端午祭拜儀式，當天不是國定假日，仍有十幾名信徒前來參拜，媽祖廟也利用中午取午時水祭拜太陽星君，提供信徒將午時水帶回家灑淨，除障，去穢。

今年端午節雖不是假日，媽祖廟仍照習俗準備端午祭拜，信徒提前到廟裡包粽子，做好的葷素粽，祭拜媽祖兵將及各殿神明。因為許多信徒為家庭子女問題前來求媽祖指示，媽祖廟代表連昭惠說，媽祖慈悲，希望眾生都能得到救贖，不過在這之前，個人有個人的業障需要消除，所以媽祖會給每個人不同的功課，如果照指示，將功課做好做滿，就能感受到改變。

團拜之後，將近午時，大家來到媽祖廟庭院接午時水，今年端午，東京天候不佳，不



連昭惠(左)代表為信徒說明媽祖聖示

今年東京的端午節雖然不像節氣中說的暑熱，也沒有划龍舟活動，但海外僑胞儘量依節氣行事，遵照傳統，日本也有五月菖蒲的習俗，夏季，正是疾病開始流行的季節，因此端午可追溯為驅邪避惡，以求身心的平安。由現代的眼光看來，在初夏瘟疫滋生之際，提醒大家做好保健的工作，延續先人的智慧，現代人也應依時節防疫保健，維護健康。

**日本首家專屬台灣人 手機・筆電維修店**

iPhone / Android / PC  
郵寄修理優惠實施中，還有各式活動優惠方案，詳情請參考下方HP官方網站！

LINE Facebook

住所：東京都豊島区東池袋1-39-15  
シヤトレー東池袋306  
修理東京HP：<https://www.d-pc.net/>

說中文也OK!

相統・贈与・登記・國際稅務

**黒澤合同事務所グループ**

1972年創業

<p>【司法書士】 不動産登記、会社登記</p> <p>【税理士】 税務、会計、非常住居民的納稅管理人</p>	<p>【土地家屋調査士・測量士】 房屋新建・拆除、土地分割・合併、測量全般</p>	<p>【公認會計士】 事業計画・股價估算、向外資企業提供各項服務的國際業務</p>
---	---	---

東京都中野区中野4-4-11  
會長 黒澤 功記

kurosawa@kurosawa.gr.jp  
http://www.kurosawa.gr.jp  
大代表：03-3388-9638  
中文服務專線：03-3388-2520 (王・高山)

# 觀光局參加YOSAKOI SORAN祭

【札幌／綜合報導】交通部觀光局和台灣觀光協會六月八日共同組團，率領由台北市立大學舞蹈系師生65人組成的「Time for Taiwan」隊伍，以「璀璨臺灣·夢想起飛」為主題，參加第27屆的北海道YOSAKOI SORAN祭，與日本各地的275支隊伍和國際5支隊伍一同使用「以舞會友」的方式進行交流，也期望透過增加曝光率，吸引更多觀光客造訪台灣。

「YOSAKOI SORAN祭」是與「雪祭」並列為北海道兩大國際性活動，YOSAKOI SORAN是以高知縣的YOSAKOI祭節為參考，將木製的打擊樂器「鳴子」與北海道民謠「拉網小調」結合起來成為一種舞蹈表演，從1992年時只有10個舞蹈隊共1000

人參加表演開始，至今每年已有日本國內外約3萬名舞者參加表演，甚至吸引200萬的觀光客前往參觀。

YOSAKOI SORAN祭主會場設於大通公園，其餘會場分布在札幌市內，舞蹈則有遊行形式及舞台形式的演出方

式，一旁的觀眾也可以加入與舞者共舞，場內還設有攤販，讓參與者可以品嚐到全國各地的美食，而引人注目不單是特色和活力的舞姿，舞者身上鮮豔的服飾及化妝也是一大亮點。

觀光局表示，這項祭典與台灣燈會已有16年的台日觀光互訪交流模式，雙方透過春季的台灣燈會、夏季的YOSAKOI SORAN祭成功的透過節慶祭典，以青年文創的文化媒介促進之間的具體交流，今年台灣代表隊的表演以「藍鵲、鳶鷹」為元素，搭配改編「高山青」、「草蜢弄雞公」等民謠及傳統樂曲，融入SORAN口號表達濃厚情感及年輕活力，活動現場也有設置台灣觀光攤位，向來自各地的舞者及觀光客進行推廣。

觀光局為了強化本次活動吸引日本來台旅遊之目標，由周永暉局長率參賽代表團前往，並特別前往拜會北海道廳及札幌市政府，進行雙方觀光的議題討論，包括希望透過青年壯遊、修學旅行等進行年輕世代的交流。

觀光局指出，台日方觀光互訪人數去年已突破650萬人次，為了讓更多日本民眾來台旅遊，觀光局也積極開發潛力客源，透過參與當地祭典爭取曝光提高知名度，同時也鞏固台日友好交流。



觀光局和台灣觀光協會共同組團，率領由台北市立大學舞蹈系師生參加第27屆北海道YOSAKOI SORAN祭 (觀光局提供)



# 觀光局多元行銷 向關西展現台灣魅力

◀「Meet Colors! 台灣」號彩繪列車大受好評 (觀光局提供)

【關西／綜合報導】交通部觀光局鎖定西日本地區的觀光市場開發，舉辦各式各樣的宣傳活動，內容也相當多元，像是阪神甲子園球場的台灣日、李明道老師「1001號機器人」推薦台灣設計之旅的展覽，以及山陽電鐵「Meet Colors! 台灣」號彩繪列車，

以及中職球團4隊啦啦隊助陣，並於球場內設有台灣的觀光宣傳攤位，播放觀光廣告，同時配合喔熊組長與阪神隊吉祥物、超人氣的芒果冰等共同推廣，讓球迷們確實感受到台灣的熱情與魅力。

另外，觀光局與山陽電鐵合作的「Meet Colors! 台灣」號彩繪列車大受好評，觀光局表示，為了加強宣傳為持續以鐵道友好交流，特別重新整理和增加地貼，也延長彩繪列車刊登期程至2020年六月，並結合寶島仲夏節的海灣輕旅行概念，將日月潭自行車道及離島生態自然等實景彩繪於電車內，讓列車乘客彷彿身歷其境，受到日本媒體重視。

周永暉局長於六月六日參與彩繪紙版列車模型活動，並在山陽電鐵上門一裕社長的陪同，和龜山車站鄰近的兵庫縣姬路市手柄國小學生視訊連線，鼓勵並謝謝他們參加活動，並彩繪出自己家鄉的魅力，作品也與宜蘭梗枋國小相互交流聯展，達到深化台日友好關係，也希望能運用海灣及設計等話題強化彼此交流。



觀光局為了拓展關西客源，推出各式各樣的活動吸引遊客 (觀光局提供)

這次觀光局與日本的產經新聞合作，於六月三日至十日在大阪市內展出李明道老師的「1001號機器人mr.與miss.one」等作品，為了增加更多自由及重遊客群的興趣，觀光局也特別推薦展示於台灣各地的公共藝術作品，如台東鐵花村、台南藍晒圖文創園區、集集線、南港車站等地，同時製作該景點的公共藝術作品地圖，向日本民眾宣傳台灣當代藝術，並值得用五感去體會台灣設計之旅新魅力。

六月五、六日兩日觀光局於阪神甲子園球場辦理台灣日，這次活動是與台灣虎航及阪神甲子園球場三方合作，周永暉局長也受阪神電鐵及甲子園球場邀請，參與開球及為台灣日活動展開序幕，觀光局指出，透過大型運動交流推廣，有助深化台日觀光市場。

這次也邀請之前曾效力於阪神虎隊、擁有多數日本球迷的中信兄弟總教練林威助，

## DAISANGEN 未来を共に創造する

### 買賣 · 出租 · 管理

大三元在日本國內與海外都有強大的投資管道。配合顧客的要求，提供打造全程的服務。

不會日語沒關係！  
中文一條龍服務，皆可中文答覆  
投資不落人後，第一手消息立刻掌握  
公平公正公開交易方式，信用有保障  
在地最可靠，資深宅建士提供專業諮詢  
投資零時差，一通訊息Line即時回覆  
擁有長期配合的中文司法書士及稅理士  
承接物件管理服務，海外也可安心收租

【服務項目】

- ◆ 不動產買賣和出租仲介
- ◆ 不動產出租的綜合管理業務
- ◆ 不動產經營顧問
- ◆ 內部裝修工程
- ◆ 火災保險相關業務

株式會社大三元 東京都知事(1)第97719號  
地址：日本東京都豐島區西池袋4-19-4  
網址：http://dsg140613.com/  
E-mail: info@dsg140613.com 電話：+81 03-5917-0727

所屬組織

- 社團法人 全國日本不動產協會
- 東京台灣商工會
- 東京商工會
- 一般社團法人 在台台灣不動產協會
- 日本台灣商會連合總會
- 公益社團法人 全日本不動產協會
- 世界華人工商婦女企管協會

### 一棟收益マンション

#### YFハウス

池袋駅 徒歩6分

＜販売価格＞ 1億2,000万円 想定利回り 6.26%

- ・住所 東京都豊島区池袋2-26-11
- ・想定資料 626,000円/月
- ・年間想定資料収入 7,512,000円
- ・現況 全室賃貸中
- ・建物構造 RC造 地上3階建て
- ・築年月 昭和54年10月
- ・総戸数 8戸 駐車場2台
- ・延床面積 185.93㎡ (56.24坪)
- ・土地権利 所有権
- ・土地面積 165.30㎡ セットバック16㎡を含む
- ・第一種中高層住居専用地域 準防火地域
- ・第三種高度地区 日影規制4h-2.5h (4m)
- ・接道 北東側私道3.1m、南東側私道2.9m
- ・引渡日 相談
- ・備考 公営水道 東京電力 東京ガス 公共下水
- ・取引態様 仲介

### 区分収益オフィス

#### 中野ベル築地マンション201号室

東京メトロ日比谷線 築地駅 徒歩2分

表面利回り 7.61%

＜販売価格＞ 9,450万円

- ・住所 東京都中央区築地7-11-5
- ・現行資料 600,000円/月
- ・年間現行資料収入 7,200,000円
- ・現況 賃貸中
- ・建物構造 RC造 地上10階建て
- ・築年月 昭和58年11月
- ・総戸数 49戸
- ・所在階 2階
- ・専有面積 152.53㎡ (46.14坪)
- ・管理費 41,200円/月
- ・修繕積立費 45,650円/月
- ・土地権利 所有権
- ・管理形態 全部委託
- ・備考 タイルカーペット・クロス新品、エアコン、OAフロア
- ・引渡日 相談
- ・取引態様 仲介

### 売リマンション

#### グランシティ南馬込101号室

都営浅草線 馬込駅 徒歩6分

＜販売価格＞ 3,990万円

- ・住所 東京都大田区南馬込1-1-15
- ・現況 空室
- ・建物構造 RC造 地上8階建て
- ・築年月 平成12年11月
- ・総戸数 31戸
- ・所在階 1階
- ・専有面積 52.67㎡ (約20.37坪)
- ・間取り 3LDK
- ・管理費 19,670円/月
- ・修繕積立費 17,310円/月
- ・専用庭使用料 300円/月
- ・土地権利 所有権
- ・管理形態 全部委託
- ・管理会社 大和地所コミュニティライフ(株)
- ・分譲会社 日本綜合地所(株)
- ・施工会社 塩田建設(株)
- ・建物設備 エレベーター、防犯カメラ、オートロック、宅配ボックス
- ・室内設備 床暖房、浴室乾燥、追焚き、モニター付インターフォン
- ・2017年6月 室内リフォーム済み リビング、キッチン、和室、洗面所、トイレ
- ・引渡日 相談
- ・取引態様 仲介

### 区分収益マンション

#### 麗見マンション701号室

西武新宿線 下落合駅 徒歩3分

表面利回り 7.03%

＜販売価格＞ 1,280万円

- ・住所 東京都新宿区中落合1-1-16
- ・現行資料 75,000円/月
- ・年間想定資料収入 900,000円
- ・現況 賃貸中
- ・建物構造 RC造 地上7階建て
- ・築年月 昭和49年7月
- ・総戸数 27戸
- ・所在階 7階
- ・専有面積 24.88㎡ (7.52坪)
- ・間取り 1DK
- ・管理費 7,490円/月
- ・修繕積立費 1,690円/月
- ・土地権利 所有権
- ・管理形態 自主管理
- ・備考 ガスコンロ 室内洗濯機置場
- ・引渡日 相談
- ・取引態様 仲介

# 台南京都兩議會結盟

# 深化雙方交流



雙方於京都市議會合影留念

【京都／綜合報導】台南市議會六月十三日與京都市議會簽訂友好交流協定，增加發展、合作等機會，同時也拜訪京都市市長門川大作，希望京都能支持台南爭取舉行

2020年世界歷史都市聯盟會議，台南市議會這次的簽約，也是全世界第一個與京都市議會簽訂友好交流協定的議會。

台南與京都皆是深具文化氣息的城市，彼此之間的互動良好，行政院長賴清德擔任市長時，也多次出訪京都，在2012年台南市申請加入世界歷史都市聯盟時，門川大作市長也曾給予支持，這次由議長賴美惠率團前往京都市議會簽訂友好交流協定，京都市市長寺田一博也盼藉由此結盟為契機，增進對彼此之認識，擴大市民間來往。

賴議長表示，台南被喻為台灣的京都，也很感謝京都幫助台南市申請加入世界歷史都市聯盟，獲得機會與更多國際知名歷史城市進一步合作，今年台南市能成為京都市議會在國際上

第一個簽定友好交流協定的議會，對台南而言意義非凡，也是台南城市外交的重大突破，期盼未來能有更多的合作，一同創造出更多的發展與可能。

簽訂儀式後，台南市議會一行由寺田議長陪同，前往拜訪門川市長，希望門川市長能支持2020年的世界歷史都市聯盟大會在台南

舉行，讓更多人看見台南人的努力與美好。

門川市長除了恭喜京都與台南兩會結盟，並樂見雙方成為友好城市，他提到，目前已知有七個城市爭取2020年世界歷史都市聯盟會議主辦，不過他有感受到台南的誠意與活力，也祝福台南爭取成功。



雙方於寺田議長(前排右3)陪同賴議長(前排左4)拜訪門川大作市長(前排右4)京都市議會合影留念



台南市議會議長賴美惠(右)與京都市議會議長寺田一博(左)簽定友好交流協定

## 力挺台灣 和歌山與高雄締結姊妹市議會



雙方出席人員合影(高雄會議提供)

【和歌山／綜合報導】和歌山市議會從2010年成立日台友好議員聯盟後，不斷加強與台灣的交流，更是日本第一個全體議員都加入聯盟的議會，也以行動展現對台灣的支持，而高雄市議會六月八日更進一步與和歌山市議會簽署友好交流備忘錄，成為和歌山市第一個台灣姊妹議會，和歌山市政府也首次為台灣升起國旗迎接高雄會議到來。

由康裕成、蕭永達在駐日代表處謝長廷代表及和歌山市長尾花正啓見證下，與和歌山市議會議長古川祐典和日台友好和歌山市議員聯盟會長遠藤富士雄代表雙方，共同簽署友好交流備忘錄。

古川祐典指出，和歌山市議會於2010年成立日台友好議員聯盟，積極與台灣地方議會建立友好關係，感謝在謝長廷代表促成下和高雄會議建立姊妹議會關係。

康裕成表示，期

透過建立姊妹議會的友好關係，積極展開高雄與日本各地方教育、經貿產業、觀光活動的交流；同時歡迎和歌山市長及議長參加在高雄舉辦的第四屆台日交流高峰會，並獲肯定出席的允諾。

除了和歌山市政府首度為台灣升旗迎接外，今年三月和歌山市議會也通過支持台灣加入CPTPP(跨太平洋夥伴全面進步協定)，遠藤富士雄也強調：「朋友有難時還能留在身邊幫忙的才是真正朋友」，也有議員穿寫著感謝台灣支援3.11東日本大地震的衣服出席，康裕成深深感動和歌山市議會如此用「心」與高雄結交為好友。



高雄市議會議長康裕成(左)與和歌山市議會議長古川祐典右合影。(高雄會議提供)

## 和泉市參訪新北工業區 簽MOU強化合作



本次參訪人員共同合影(新北市經發局提供)

【新北／綜合報導】日本大阪府和泉市長辻宏康於六月九日帶領和泉市工業區業者及協會代表參觀新北產業園區，希望能向新北市學習工業區開發經驗，並由新北與和泉的市政府見證，由新北市工商發展投資策進會總幹事朱俊曉與和泉市工業區協議會會長加納川快明簽署合作MOU，締造台日工業區發展新的里程碑，後續將合作加速雙方產業智慧化及企業交流進程。

新北市經發局副局長黃正誠表示，這次從和泉市來訪業者多為機械設備製造、金屬加工製品業及批發零售業，剛好與新北市的製造產業主要類別相似，希望能藉此促進雙方的生產技術交流，同時深化與在地企業的合作關係，因此透過簽署備忘錄，工策會和協議會就能建立訊息與經驗交流平台，讓雙方後續能進行各項生產技術、貿易情報

的合作和交換。

和泉市市長辻宏康表示，和泉市於東洋經濟評鑑中，名列全日本都市成長排名第四位，未來也計畫於市內持續增設工業區以帶動經濟發展，因此這次特別到新北產業園區觀摩，並學習園區兼顧經濟和環境的發展方式，實踐永續經營的理念。

經發局也補充，新北市升格至今，已成為經貿熱絡的國際城市，吸引超過700家外商投資、引入超過300億新台幣的投資金額，相信透過這次的觀摩和合作MOU簽署，能有效促進台日一同規畫經貿合作及產業園區，建立長期關係，市府未來也會持續推動重點產業合作，並強化合作型態，盼能共同開拓全球市場，帶動產業提升、創造雙贏的局面。

## 無量壽佛 歡迎參加祭改(免費)

### 每月農曆初一、十五日收驚、消災、解厄。

本宮為服務廣大信眾、有需要之信眾、請準備有領、有袖子淡色上衣、黑色的不可。由本人親自帶回純陽宮恭請神仙佛聖賢菩薩作主化解。(一家族的上衣可以一人代表帶回)

如果無法親自來本宮就不取件。

本宮備有接送車輛、有需要者、請在前一天事先連絡。JR成田空港第二航廈出口35號對面

宗教法人 日本大道院純陽宮

〒289-0216 千葉県香取郡神崎町植房950-1  
TEL:0478-72-1068或1899 FAX:0478-72-1089  
董事長 玄駿 興建會長 玄胡明信

**交通アクセス**

- JR成田線「下総神崎駅」からタクシー5分
- 東関東自動車道「大柴インター」→国道51号成田方面二つ目信号右折神崎方面→県道110号→「純陽宮看板」左折
- 国道356号→信号「神崎大橋際」より旧国道356号へ→信号「郡駐在所横」右折→「純陽宮看板」右折

鹿島 ← 東京 →  
香取 ← 成田 →  
長太郎 C.C.  
純陽宮看板  
110号線 神崎方面  
宗教法人 日本大道院 純陽宮  
下総神崎駅  
国道 356号

# 逢甲「全球金融趨勢與展望」日本研習團訪神田外語大學



研習團參訪神田外語大學

外語大學，由留日大學教聯誼會的吉永耕介教授負責接待，參觀學校新建一年的八號館，及圖書館，並到茶道社團進行實際茶道體驗。

這個研習團已經是第四次訪問神田外語大學，研習團成員大多為研究所博、碩士班學生，在台灣許多人都是企業經營者，在了解日本金融企業現況外，訪問學校，也有助了解日本學校軟硬體建設，台灣教育有何可以學習之處。黃輝慶表示，在全球化的浪潮下，語言已經比學術專業更重要，神田外語

大學設計的開放式學習場所及為不同語言國家建設的迷你場館，學生可實際體驗該語言文化風貌，值得台灣各學校仿效。

吉永老師擔任茶道社顧問已經兩年，這期間都安排逢甲研習團來茶道社體驗日式傳統茶道儀式作法，學生一邊品嚐日式傳統抹茶一邊享用這個季節的繡球花和果子，逢甲大學也贈送茶道社師生台灣茶葉跟點心回禮。大家對日式茶道的細膩跟精緻感受深刻，並詳細詢問日本抹茶跟台灣綠茶的生產差異。

黃輝慶曾任職駐日代表處二十多年，在日本各領域人脈豐厚，返國任教後，對促進學校與日本學術交流

及學生長短期留日有長足貢獻，這次帶團來日，讓研究所老師同學感受日本學術企業現況，老師之間也交流台日學生學習狀態，相較大陸留學生的狼性，目前台日大學生均有積極度不夠的情形，藉由出國研習，打開眼界，也希望提升學生學習動能。



體驗日式茶道



圖書館內韓國區



神田外語大學八號館

【東京／採訪報導】逢甲大學金融學院金融研究所2018「全球金融趨勢與展望」日本研習團，一行二十二人在黃輝慶副教授的帶領下，從六月三日到六月七日拜訪關東多所大學及東京證券交易所，銀行及保險公司等多家企業。在六月六日下午，研習團到訪千葉的神田

## 台日大學校長論壇在日本廣島盛大舉行



張副代表仁久於2018台日大學校長論壇致詞

【廣島／綜合報導】「2018台日大學校長論壇」六月七日在廣島麗嘉皇家飯店舉行，有102校與會（台灣36校，日本66校），包含校長層級，參與人數近2000人。駐日本代表處副代表張仁久開幕致詞，為論壇揭開序幕。

本次論壇主題為「提升與全球化社會相關之教育及研究合作」，由台日雙方講者分別就「促進國際教育交流及國際學生移動力以因應全球化」、「促進國際研究交流及創新產學合作」進行專題

發表；之後分別就教育及研究議題進行討論及意見交流，尋求合作機會。

主辦單位安排日本國公私立大學團體國際交流委員會協議會及台灣財團法人高等教育國際合作基金會發表聯合聲明，確認雙方將持續共同推動高等教育合作，包括加強雙方教育學術交流、學術資源共享、定期舉行會議、建立合作平台，以增進雙方對話及交換意見的機會。

依據教育部及日本學生支援機構統計，2017年日本來台就學人數為8387人，台灣赴日留學人數已達1萬347人，留學生人數均穩定成長。台日大學校長論壇於2016年在成功大學辦理首屆會議，論壇由台日雙方每二年輪流主辦，成功建立跨國高教合作平台，本屆輪由日本廣島大學承辦，雙方議定下一屆論壇將於2020年由國立暨南國際大學承辦，延續台日高等教育夥伴關係，學術合作日趨緊密，為台日高等教育交流開創新頁。

## 配合橫濱中華學院改建 重慶飯店別館功成身退



橫濱中華學院現有校舍

【橫濱／綜合報導】橫濱中華學校校舍改建正緊鑼密鼓進行，校園內的幼稚園跟保育園也將進行合併成為「幼保連攜型認定兒童園」，預計在2020年底校舍完成後，橫濱中華學院將成為能從幼兒到高中的一貫教育的學校，馮彥國校長表示，感謝華僑，中華民國政府及日本官民各界全力協助校舍改建，橫濱中華學院將繼續在提供多元文化共生的教育環境及為華僑社會與世界培育引領時代人才方向上不斷努力。

1987年國父孫中山在橫濱倡議設立中西學院至今，橫濱中華學

院校齡已經超過120年，從幼稚園到高中，目前學校有475名學生，其中有三成以上雙親是日本人，校內實施中、日、英、三語教育，現有校舍

花費30億日圓建設經費，正向各界積極進行募款。此外，現有校舍所在地的重慶飯店別館，是當初由橫濱華僑領袖前輩李海天經營，不但有酒吧，也有婚禮專用的舞台，經過不斷改善與配合當時需要，成為目前在中華街具有特色的中華料理餐廳，別館的存在同時也見證了長年學校的成長跟中華街的發展。

重慶飯店李宏道社長表示，雖然別館將歇業，但重慶飯店本店預計在十月新建完成，李社長強調，培養新一代華僑的學校實屬中華街之寶，他將以一位生根中華街的一員角色，繼續守護橫濱中華學院的未來。



橫濱中華學院改建示意圖

株式會社ユタカ  
專務取締役 川上清

**招募台籍員工**  
說中文也會通!

# 人才招募計畫

歡迎有熱忱、活潑、開朗、熱情的您加入我們的行列

<p><b>YUTAKA</b> 事業所一覽</p>	<p><b>【大阪事業所】</b> 〒555-0041 大阪府大阪市西淀川区中島2丁目4-41 ☎電話 06-6477-0671 ☎FAX 06-6379-3720</p>	<p><b>【広島事業所】</b> 〒739-0263 広島県東広島市志和流通団地1丁目22 A-101 ☎電話 0824-33-0890 ☎FAX 0824-33-0891</p>	<p><b>【篠山事業所】</b> 〒669-2727 兵庫県篠山市高屋199-2 ささゆり荘101 ☎電話 079-593-0810 ☎FAX 079-593-0819</p>	<p><b>【兵庫事業所】</b> 〒675-1322 兵庫県小野市匠台72-5 ☎電話 0794-63-4026 ☎FAX 0794-63-4036</p>	<p><b>【滋賀事業所】</b> 〒522-0201 滋賀県彦根市高宮137-1 3F 47/306 ☎電話 0749-49-2600 ☎FAX 0749-26-2300</p>
<p><b>【名古屋事業所】</b> 〒496-0044 愛知県津島市立込町2丁目73-1 1F 107-105 ☎電話 0567-69-6550 ☎FAX 0567-69-6562</p>	<p><b>【岡山事業所】</b> 〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川 4860-6 ☎電話 0866-56-8780 ☎FAX 0866-56-8781</p>	<p><b>【埼玉事業所】</b> 〒343-0822 埼玉県越谷市西方2丁目21-13 会田ビル2-B ☎電話 048-960-5432 ☎FAX 048-960-5434</p>	<p><b>【千葉事業所】</b> 〒270-1337 千葉県印西市木下東1-10-1-108 ☎電話 0476-40-3002 ☎FAX 0476-40-3003</p>	<p><b>【常総事業所】</b> 〒300-2714 茨城県常総市平内319-3 A104 ☎電話 0297-43-0855 ☎FAX 0297-42-1687</p>	<p><b>【昭島事業所】</b> 〒196-0015 東京都昭島市昭和町2-7-12-203 ☎電話 042-519-4405 ☎FAX 042-519-4408</p>



# 日本台灣祭在台首演轟動

## 加深雙方民衆交流

【台北／綜合報導】2018年的日本台灣祭於六月二十二、二十三日盛大登場，今年突破以往，首次移師台北大稻埕永樂市場前廣場舉辦，希望能讓台灣人感受到日本的魅力，透過各式各樣的攤位和精彩的演出，成功吸引不少民眾目光，也讓永樂市場充滿濃濃的日本味。

日本台灣祭一直以來大受都日本民眾歡迎，2017年於東京上野公園舉行的台灣祭邀請到台北霞海城隍廟月下老人一同參與，當時正逢日本七夕，不少民眾也前來參拜，在體驗台灣文化的同時，也順便祈求有個好姻緣，活動更進一步促成台北迪化街與阿美橫町締結姊妹街，加深台日之間的關係，也決定2018年的日本台灣祭先在台北開跑，經過主辦單位台日文化交流基金和協辦單位台北霞海城隍廟、台北迪化商圈發展促進會的努力，成功讓台

灣場在迪化街的永樂市場開幕。

台灣日本關係協會秘書長張淑玲表示，日本台灣祭一直以來都受到各界矚目，不僅一年辦得比一年盛大，而且馬上又要在北海道的札幌舉辦今年日本台灣祭，也相信像這樣能夠雙向合作，藉由活動在日本介紹台灣、在台灣介紹日本，一定能讓雙方的國民感情更友好，也能促進兩國之間的互訪，因此台日關係協會也樂見這樣的活動舉辦，並期望能越辦越好。

台北市政府商業處副處長江美玲提到，商業處很高興能夠促成這次的台日交流活動，迪化街在台灣相當有名，能夠藉由民間交流活動將迪化街行銷到日本是非常有意義的，也期待未來台日之間能每年度定舉辦這樣的活動，讓雙方的遊客都能知道互相的美好。

日本台灣交流協會新聞文化部部长松原一樹在致詞時表示，很感謝

主辦單位邀請日本台灣交流協會參加這次的活動，迪化街是以年貨大街聞名的老街，就相當於日本的阿美橫町，也很高興能夠在迪化街這舉辦日本文化活動和僑界活動，近年來日本與台灣的關係能夠蓬勃發展，都是歸功於台日民眾之間的深厚感情，很期待台灣朋友能透過這次活動，盡情享受日本文化和美食，並更進一步變得喜歡日本。

台日交流基金代表理事錢妙玲也在致詞時提到，取名日本台灣祭代表著不僅是幫台灣做交流，也是幫日本做交流，很感謝很多人的支持和幫助，才能讓第一次在台北舉辦的日本台灣祭能順利成功，可能因為第一次舉辦有美中不足的地方還要請大家包涵，也希望給大家快樂的一天。

兩天的精彩表演更是接連不斷，當中不少表演者也對這次活動極為讚賞，來自茨城縣よさこい團隊的



新世代唱跳團體姬神CRISIS

高野提到，台灣在日本非常有人氣，希望像這樣的文化交流活動可以多加舉辦，讓更多台灣人知道日本、日本人知道台灣。另外，也有不少表演者是來自台灣，近期在日本舉辦的津輕三味線全日本金木大會中勇奪季軍的台灣廣原會也在活動現場演奏日本傳統民謠，他們希望在推廣日本文化時，也能用這些文化與日本人交流。

其他表演者還有日本的新世代唱跳團體姬神CRISIS、二胡演

奏家里地歸、三味線樂團The Syamisenist、創作歌手洗美等，每個人都帶來精彩的表演，努力將原汁原味的日本表演帶到永樂市場，再加上台日風格兼具的攤販，讓不少路過的民眾都紛紛停下腳步，一同參與這場文化交流的盛宴，人潮更是絡繹不絕，而台日文化交流基金的日本台灣祭第二場也將在七月二十八、二十九日於北海道札幌市北3條廣場舉行。



遠從茨城縣遠道而來的

團隊



活動現場吸引不少民眾駐足觀賞



台灣廣原會會長廣原武豪獨奏



唱作俱佳的歌手洗美



在台灣擁有不少人氣的二胡音樂家里地歸